

# 令和6年度 ぎふ立志リーダー養成塾 実施報告書



岐 阜 県



## 開塾のあいさつ

令和6年度ぎふ立志リーダー養成塾 塾長

柳原 幸一

全力 塾で学んだこと 受け身はダメ、ゼツタイ。進んで動けるリーダーに  
塾後の自分 私の目指すリーダー 塾で学んだこと 成長  
大きく成長した4日間 仲間と共に 挑戦～真のリーダーとは リーダーとは・・・  
自発的になるために 塾で学んだこと 挑戦～頼られるリーダーに 塾で学んだこと  
絆 塾で学んだこと 塾に参加して 塾で学んだこと  
塾を終えた自分 新たなスタート歩み続ける 塾を終えて 最高のリーダーを目指して  
塾を終えて 良き仲間が自分を変える 塾で学んだこと 塾を通して  
挑戦 塾で学んだこと リーダーとしての 自分今を越える一歩、  
4日間で終わった自分 自分革命 頼れるリーダーになる 全員一致は無効です  
塾で得たこと リーダーとして 目指すリーダー像に向かって

――平成29年度塾生39名――

一步一步前進しながら リーダーとは何か さらに高みへ リーダーとして自分らしい  
リーダー 自分なりのリーダーへ 発信力を大切に 仲間がいるから  
自分らしいリーダーに 逆算するリーダーに 大切にしている三つのこと 挑戦  
理想のリーダー像 塾での学びと今 周り自分 研修を通して  
自分なりのリーダー像 私は私らしく 見つけたリーダー像 リーダーとしての自分  
最高の同志から学んだこと 学んだことを生かす 新たな始まり 塾での成果  
寄り添うリーダー 真のリーダーへ 努力と挑戦をし続けるリーダーへ  
先を見る力、工夫する力 本当のリーダー 真のリーダーに 真のリーダーって  
塾を通して 挑戦 未完成なリーダー 人と関わり合うために 仲間との絆  
正解のない考え方 誰よりも、自分から これからも仲間を大切に

――令和元年度塾生39名――

上記の言葉たちは、私が、かつて各務野立志塾の塾長をつとめた年度の生徒達の4日間の研修が終了した後で書いた感想文の題です。

4日間の研修、思いっきり真剣に取り組んで欲しいと思います。

今、開塾式にいる君達。4日後の閉塾式にいる君達。

その差を実感できるのは、君達だけですから。

プログラムを終えた君達の“感想”を楽しみにして、挨拶とします。

## 令和6年度「ぎふ立志リーダー養成塾」の概要

### <開催趣旨>

現在の日本は、少子高齢化に伴う社会保障問題や国際社会の複雑な情勢、温暖化に代表される地球規模の環境問題など、課題が山積しており、日本や地域社会の未来を切り拓いていく力強いリーダーの存在が求められています。リーダーには、広い視野と高い志、倫理観に裏打ちされた人格を基盤に、ビジョンを立て、それを自分のことばで伝えるなどの資質が必要とされています。

この養成塾では、感受性豊かな青年前期にあり、また、学校においてリーダー的役割を担い、将来、各方面での活躍が期待される志の高いみなさんが、美しく豊かな自然環境の中、優れたアドバイザーの指導のもと、同じ志を持った仲間とともに、「考え、チャレンジし、まとめあげ、発信する」共同作業を通して、「目的を達成するために、責任ある決断をし、人をまとめ、導く力」を伸ばすことにより、将来のリーダーを養成します。

主催： 岐阜県

協賛： 一般社団法人岐阜県経済同友会、一般社団法人岐阜県経営者協会、岐阜県商工会議所連合会、  
岐阜県中小企業団体中央会、岐阜県商工会連合会

後援： 岐阜県教育委員会

塾長等： 塾長 柳原 幸一 氏（一般社団法人岐阜県経済同友会筆頭代表幹事）

副塾長 益川 浩一 氏（岐阜大学教授）

開催期日： 令和6年8月8日（木）、8月9日（金）、8月10日（土）、8月11日（日）（3泊4日）

会場： トヨタ白川郷自然学校（大野郡白川村馬狩223）

塾生： 岐阜県内の中学校において、現在生徒会長・副会長・生徒会役員・学級代表（議員を含む）として活動する2年生及び3年生（いずれも経験者を含む）24名

### 1 第1日目 8月8日（木）

#### （1）講義 「リーダーを目指し、伸ばそう、自分の力。深めよう、自分の心。」

【講師】 柳原 幸一 塾長

（一般社団法人岐阜県経済同友会筆頭代表幹事、株式会社 鵜飼 取締役会長）

#### 【内容】

##### ①人生70万時間の内の30万時間の使い方について

- ・ 中学を卒業してからの人生はおよそ30万時間ある。その時間をどのように使うか。
- ・ 時間を有効に使うためには、現状よりもほんの少し上の目標を立てて達成を積み上げる。

##### ②「失敗」と書いて「成功」と読む

- ・ 失敗を恐れる必要はない。
- ・ 簡単に成功するより苦勞した方が体と心に残り、次につながるができる。

##### ③整理、整頓

- ・ 必要か不要かを考える。いらぬものはなくし、いるものはちゃんとしまう。
- ・ 努力して積み上げたものを無駄にせず残す。必ず将来自身の役に立つ。
- ・ 頭に残す以外にも、形にして残したり書き出したりしてみる。



### <塾生の感想>

- ・ 「自分で努力したことは、必ず後から使う、必ず報われる」という内容が心に残っています。このことを聴いて、中学校3年生の今からリーダーとしてたくさん失敗して、自分の引き出しの中に整理しておこうと思えました。
- ・ 今まで失敗することは「怖いもの」や「恥ずかしいもの」だと思っていました。しかし、失敗することは悪いことではなく、逆にプラスに考え「次はこうしよう」などと新たな考えが生まれ、失敗することで自分は成長できると気付きました。

## (2) リーダー養成プログラム① 「チームビルディング」

【指導】 トヨタ白川郷自然学校インタープリター

【内容】 同じ目的に向かう仲間づくりのための活動

活動名	目的	内容	ポイント
ラインナップ	アイスブレイク	情報交換なしに誕生日順に並ぶ。	集団の中で自ら判断し、行動するメンバーシップや、言語以外のコミュニケーションを体験する。
仲間探し	アイスブレイク	しゃべらないで自分と同じ部活動に所属している仲間を探す。	自らを表現することや、放課後の活動を視覚的に知り、お互いを知るための個人情報共有する。
ネームトス	アイスブレイク	お互いの名前を呼びながらボールを投げあう中で、覚えていく。	対人関係を円滑にする双方向コミュニケーションを意識づけると共に、名前を気軽に呼び合える関係を醸成する。
フラフープくぐり	信頼関係づくり	手をつないで円になった状態でフラフープを一周させる。	仲間と共により良い方法を考えながら、全員で課題を達成する。

### < 塾生の感想 >

- ・一人一人の名前を覚えるきっかけになり、コミュニケーションを取ることができた。「フラフープをくぐり」では協力が必要だったので、いい協力プレーができた。
- ・お互いに声を掛け合って、作戦を考え喜びを感じられたし、自分もリーダー達と意見を交流し合って、より良い結果を目指して活動ができた。



## (3) リーダー養成プログラム② 「地域課題への企画提案」

【指導】 私学振興・青少年課

【内容】

○プログラムの流れ

**課題掘み**

- ・現状及び課題の把握
- ・事象に関わる人々の願い
- ・現状、課題の整理と原因の焦点化

**企画検討**

- ・ゴール(効果)の明確化
- ・メリット、デメリットの整理

**企画立案**

- ・「実行したい」と思える魅力的な企画内容を考える。

**提案準備**



- ・協働による、発表原稿の作成と資料の作成
- ・役割分担し、本番に向けリハーサル



### 企画提案発表会

活動を充実させるために～「考え方や表現の仕方」を磨こう～

- ・常に「最上位目標」を頭において考える。迷ったら、「最上位目標」に立ち返る。
- ・課題解決ばかりではなく、強みを伸ばすことを考える。
- ・タブレットの共有フォルダで情報を共有する。
- ・効果的に伝えるために プレゼンの構成を工夫

#### (4) 1日の振り返り

じっくりと1日を振り返り、自分の成長やこれからがんばりたいことを記述（毎日実施）。

## 2 第2日目 8月9日（金）

### (1) リーダー養成プログラム③ 「荻町フィールドワーク」

【観光ガイド】 白川村立白川郷学園 6年生児童

【内容】 白川郷荻町合掌集落について、実際に集落内へ移動し、合掌造りの見学を通して、世界遺産を守るための住民の努力と今後の課題等について学ぶ。白川郷学園 6年生児童がグループ別で合掌集落について案内する。また、合掌集落内における観光業の実態をフィールドワークにより調査する。

【見学先】 白川八幡神社、明善寺、神田家、長瀬家、和田家等



#### < 塾生の感想 >

- ・白川郷学園の6年生の観光大使の子たちが分かりやすく白川郷について説明してくれたので、企画提案につながる様々なことを感じたり、実際に白川村に住んでいる小学生の気持ちを知ることができた。
- ・観光大使のガイドや実際に世界遺産を見ることで、合掌造りの歴史を感じた。白川村の人達はたくさんの知恵を使い、この伝統を引き継いできたことを感じた。
- ・合掌造りの家で煙で黒くなっている木は、煙によって強くなっているという話を聞き、暮らしの工夫を感じた。

### (2) リーダー養成プログラム④ 講話「リーダーとして期待すること」

【講師】 岐阜県教育委員会 青木 孝憲 義務教育総括監

#### 【内容】

##### ○謎解きゲーム「犯人は誰？」

- ・情報の書かれたカードの情報を共有し、謎を解くゲームを通してチーム内の役割について考える。
- ・推進役、従者、反対役、観察役がある。推進役と従者しかいないと間違った方向に進んだときに修正できない。反対役、観察役も必要。

##### ○リーダーの役割とは

- ・リーダーは組織で活動する上での役割にすぎない。目的を達成するために結果を出せる人。チームが向かうべきビジョンを掲げ、メンバーを動機づけ、やる気にさせる。

○どんな人がリーダーに向いているか。

- ・話しやすいリーダーがメンバーに安心感をあたえ、進捗状況も把握できる。
- ・積極的に話しかけ、考えや思いを届けることが大切。

○「志」とは

- ・「夢」や「希望」は自己のために望み願うことであるが、「志」には「相手のために想う気持ち」がある。



<塾生の感想>

- ・学校では今までみんなに役割を割り振るより自分でやった方がいいと思って全て自分でやろうとしてきた。しかし、よいリーダーとは「メンバーの持つ能力を活かせるリーダー」と聞き、今後はメンバーの力を最大限引き出し、どれだけやる気を起こさせられるかチャレンジしようと思った。
- ・「何にでもなれるチャンス」があると聞き、この後の学校生活で小さなチャンスでもよいので少しずつチャンスを見つけて挑戦したい。
- ・リーダーは必ずしも偉くて優秀ではなく、チームの中の一つの役割であるという考え方が素敵だと感じた。人の心を気持ちよく動かせるようにするために話しかけやすいリーダーになっていきたい。

### (3) リーダー養成プログラム⑤「地域課題へのアプローチ」

【講師】 一般社団法人ホワイエ 柴原 孝治 代表

【内容】 地域のための取り組みや活動をしている方から、白川村の現状・課題に対して、どのような考えで取り組んできたかを理解する。各自の企画を見直し、今後の企画提案に向けての見直しをもつ。

〈観光〉 ・コロナ前に戻りつつあり、オーバーツーリズムの影響がある。  
・写真撮影やお土産の購入、食べ歩きが主の通過型観光である。  
・人手不足で働き手が足りず営業できない。

〈過疎〉 ・人口維持が目標である。  
・人口増減は自然増減と社会増減に分けられる。  
・空き家不足の現状がある。

〈担い手づくり〉 ・人口減少の影響を受けている。  
・人手不足による地域行事の負担がある。

〈産業〉 ・正規雇用は役場と建設業、一部の観光業のみ。  
・6次産業化が必要である。

講話後にグループワークでわかったことを出し合い、分類し、意見を整理し全体で交流を行った。



< 塾生の感想 >

- ・事前課題で調べた課題とは違うものや、違う視点からの課題を聞いて自分の情報を見直し、まとめることができた。
- ・新型コロナウイルスの影響から観光業の落ち込みを教えていただき単純に驚いた。白川村の課題について調べたつもりだったが、思ったより知らないことだらけだった。
- ・人手不足やオーバーツーリズム、高齢化の話が印象に残った。自分としては外国からの人材の受け入れ、オーバーツーリズム対策として多言語でのルールやマナー表示、都市からの若者を引き込むことで対策していくことが大切だと感じた。

### 3 第3日目 8月10日(土)

#### (1) モーニングウォーク

【指導】トヨタ白川郷自然学校インタープリター

【内容】インタープリターによるガイドを受けながら、朝の森を散策する。植物の知識や森の役割を理解する。



< 塾生の感想 >

- ・キツツキがあけた木の穴にモモンガや蜂が住んでいて、動物たちが共生して暮らしていることを知った。
- ・白川村の自然、特に木や草について知ることができた。また、リスを見ることができて運がよかった。
- ・歩きながら何度もリスを見たり様々な自然を見たり話を聞いたりできて爽やかな気分になった。

#### (2) リーダー養成プログラム⑤ 「地域課題への企画提案」

【講師】岐阜大学 地域協学センター長 益川 浩一 教授

【内容】

○企画提案発表会リハーサル後の助言

- ・耳慣れたフレーズや課題を連想するのではなく、地域ならではのリアルを知る。
- ・真の課題はどこかを捉える。
- ・実現可能であるか。「あるもの活かし」の発想が大切。
- ・異質なものを組み合わせることによる相乗効果、アウフヘーベン。
- ・理想に向かって現実を近づけるバックキャスト思考。

○グループワークのグラドルール

- ・全員が同じ立場として参加する。
- ・他人の意見を否定しない。
- ・全員が場づくりに責任を持つ。
- ・全員が当事者意識をもつ。

○プレゼン

- ・see → show → speak 聞き手を見て、視覚情報から入り、説明する。
- ・反応の良い聞き手を見つけ、気分を上げてから視線を全体に向ける。



### <塾生の感想>

- ・グランドルールの中の「全員が同じ立場として参加する」について、学校での話し合いを振り返ることができた。
- ・話し合いで方向性が違って行き詰りうまく進まないことがあったが、「目的地点を共有」することが参考になった。
- ・「あてにし、あてにされる関係」という言葉が心に残った。地域での人のつながりについての言葉であるが、学校での生徒会活動でもこの関係を目指していけるようにしたい。
- ・「自分の姿はどうだったのか」という問いに対し「自分は相手を否定していなかったか」「平等な立場で話せていたのか」について自分の姿を見つめ直すことができた。

## 4 第4日目 8月11日(日)

### リーダー養成プログラム⑤ 「地域課題への企画提案」発表会

【講評】 白川村立白川郷学園 曾出 昌広 校長

岐阜県私学振興・青少年課 河村 正典 課長

#### 【内容】

#### ○Aグループ (テーマ: 担い手づくり)

##### 現状と課題

- ・人口ピラミッドが壺型であり、特に65歳以上の人口が圧倒的に多い。スーパーマーケットや病院が少ない。一部に移住の希望があるが受け入れが整っていない。複数の状況から地域の担い手が減少している。

##### 企画案

Welcome “結”プロジェクト

ボランティア体験による一時的な担い手に

例: どぶろく祭り

伝統的な行事を村の人と準備から一緒にすすめ、地域とのつながりをつくる。

お礼として大人にはどぶろく、子どもにはお菓子などを配布。

担い手が少ないため、準備からの手伝いは大きな担い手となる。

- ➡ 一時的な担い手から“結”を学んだ本当の担い手へ  
魅力を感じた人から、担い手になっていくことをねらう。

#### ○Bグループ (テーマ: 過疎対策)

##### 現状と課題

- ・若者の都市部流出による人口減少
- ・住宅不足により移住希望者の受け入れができない

##### 企画案

ITP(increase the population)プロジェクト 人口1,500人台にキープ

##### ①マンションを建てて空き家をつくる

- ・65歳以上を対象としたバリアフリー、病院・スーパー併設のマンション建設
- ・65歳以上がマンションに住む → 空き家ができる → 空き家への移住を働きかける
- ・マンションの建設は老朽化施設を再利用

##### ②気軽に移住できるようにする仕組みを整える

- ・共同シェアハウスにより、手ごろな費用で住める
- ・お試し移住により、移住の不安を体験により解決

##### ③仕事を確保

- ・高齢化マンションでの従業員募集
- ・空き家の維持 → 地域の負担軽減

##### ④子育てへの援助

- ・家の購入補助
- ・中学生までの医療費援助



## ⑤宣伝

- ・ SNS 広告による宣伝 → 情報の広がり早い、若者への効果大
- ➡ 20～40代の移住者が住みやすい村づくり

## 〇Cグループ（テーマ：観光）

### 現状と課題

- ・ 観光客は増加しているが、宿泊客は常に一定。荻町の人口約600人に対し年間に訪れる人数は約180万人。
- ・ 車での移動しかできない。景観維持のためゴミ箱がないため、ポイ捨てがある。観光客の対応に人が足りていない。

### 企画案

白川村ブランド化への道

#### ①合掌造り以外の観光資源のPR

例：どぶろく祭りツアー

- ・ 昼は白川郷で観光、夜はどぶろく祭りに参加しそのまま宿泊  
→ 通過型観光の解消、村全体の収益の増加
- ・ SNS投稿によるPR 投稿者には商品券等の配布

#### ②大学生のボランティア募集

- ・ 前述のツアーガイドのボランティアを募集。外国語学科、将来に役立てたいなど、大学生のニーズにマッチし、繁忙期と大学の休みが重なるため、人不足を補える。
- ・ インターン  
ホテル業、通訳ガイド、ガイドマップ作製、観光客の迎え入れ

➡ 観光客の増加による地元住民の負担を減少



## 〇Dグループ（テーマ：産業）

### 現状と課題

- ・ 集客数は県内4位だが、観光業以外の産業が少ない。
- ・ 人手不足の深刻化

### 企画案

愛コメ・・・愛情をこめて作ったお米

#### ①愛コメせんべい体験

- ・ 第1次産業×第2次産業×第3次産業＝第6次産業化
- ・ 体験者がつくる様々な愛コメせんべいの魅力を発信

#### ②ふるさと納税

ブランド米の販売により農家の収入へ  
購入者に割引券の配布 → 白川村に訪れるきっかけに

➡ 第1次産業の発展



### 【講評内容】

#### 〇白川村立白川郷学園 曾出 昌広 校長先生

- ・ 村の総合戦略会議でも話題に上がっている内容と重なるところが多く、よく考えられている。
- ・ 思い切った提案ができていて、人の心を動かす可能性がある。
- ・ 観光客に対して体験が少ない現状があり、体験と第1次産業を結び付けているところが面白い。
- ・ “結”の精神の人のつながりを大切にする考え方を大切にした提案がよい。自身の地域のつながりについても考えるとよい。
- ・ 住民の負担を減らす考え方がよい。
- ・ 実際に住んでいる人がどう考えているのかを聞くと、更に提案が深まる。

#### 〇岐阜県私学振興・青少年課 河村 正典 課長

- ・ 膨大なデータ、資料を良く調べアイデアを練って10分間に凝縮されたものであった。
- ・ プレゼンの手法に工夫（グラフ、寸劇、声の出し方、ネーミングセンス）が見られた。
- ・ 白川村の地域課題に対して考えたが、日本全国共通の課題があるため大変意義深い。
- ・ 各地域で実際の地域住民として課題を深掘りして考えることにつながれるとよい。

# 令和6年度ぎふ立志リーダー養成塾 日程表

日時: 8月8日(木)～11日(日) 会場: トヨタ白川郷自然学校

時間(分)	6:00	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00	19:00	20:00	21:00	22:00		
8月8日 木				バスにて塾生出発	JR岐阜駅北口 集合7:20 7:40発 美濃加茂ハイウェイアリス 集合8:50 9:00発	オリエンテーション	屋食	開塾式 1.塾長挨拶 2.自然学校挨拶 3.TVや授業 4.塾生の言葉 5.スタンプ紹介 6.県挨拶 7.記念撮影	塾長講話 講師 柳原幸一 塾長	チェックイン	リーダー養成プログラム① 「チームビルディング」 指導:自然学校IP 内容:同じ目的に向かう仲間づくりのための活動	夕食	リーダー養成プログラム② 「グループワーク」 「地域課題への企画提案」 私学振興、青少年課 ・改めて自己紹介(目指すリーダー像、自分の地域との関わりについて等) ・地域課題の進め方	一日のまとめ	入浴、仲間との交流等				
時間(分)				12:00～13:00 (60)	13:00～14:00 (60)	14:00～15:30 (90)	15:30～16:00 (30)	16:00～17:30 (90)	17:30～18:30 (60)	18:30～20:30 (120)	20:30～21:00 (30)	21:00～22:00 (60)							
場所				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動		
備考				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動		
8月9日 金				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動		
時間(分)				7:45～8:45 (60)	8:45～9:00 (15)	9:00～10:15 (75)	10:15～11:30 (75)	11:30～12:00 (30)	12:00～13:00 (60)	13:00～13:50 (50)	13:50～14:00 (10)	14:00～15:30 (90)	15:30～16:00 (30)	16:00～17:30 (90)	17:30～18:30 (60)	18:30～20:30 (120)	20:30～21:00 (30)	21:00～22:00 (60)	
場所				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	
備考				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	
8月10日 土				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	
時間(分)				7:00～8:00 (60)	8:00～9:00 (60)	9:00～9:30 (30)	9:30～12:00 (150)	12:00～13:00 (60)	13:00～14:45 (105)	14:45～16:00 (75)	16:00～17:00 (60)	17:00～17:30 (30)	17:30～18:30 (60)	18:30～19:30 (60)	19:30～20:30 (60)	20:30～21:00 (30)	21:00～22:00 (60)		
場所				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	
備考				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	
8月11日 日				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	
時間(分)				7:30～7:45 (15)	7:45～8:45 (60)	8:45～9:15 (30)	9:15～11:30 (135)	11:30～12:00 (30)	12:00～12:45 (45)	12:45～13:15 (30)	13:15～14:00 (45)	14:00～15:00 (60)	15:00～16:00 (60)	16:00～17:00 (60)	17:00～18:00 (60)	18:00～19:00 (60)	19:00～20:00 (60)	20:00～21:00 (60)	21:00～22:00 (60)
場所				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動
備考				バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動	バス移動

15:40 中農総合庁舎  
16:10 美濃加茂ハイウェイアリス  
17:20 JR岐阜駅北口

13:30 バスにて塾生出発  
13:30 現地解散 1名

# 合い言葉とユニフォーム

## 1 合い言葉

**Voice yourself!**

自分の意見を遠慮せず、大きな声で発表しよう、仲間に伝えよう！

**Lead the way!**

リーダーとして先頭に立ってみんなを導こう！

**The next big thing...**

「次の出番は・・・」また、「次のトレンド、大きな波は・・・」  
「・・・」の後は「私たちだ！」という意味が隠れている。

※合い言葉やデザインは学校法人渡辺学園サニーサイドインターナショナル幼稚園の園長先生及び AET の方々のご協力により作成しています。

## 2 ユニフォーム (Tシャツ)

合い言葉をデザインしたTシャツ



## 塾生の感想 ～プログラムを終えて～

### 羽島市立桑原学園 8年「よいリーダーになるために」

僕はこの研修を通して努力すること、積極的な行動、そして、志を持つことが大切だと分かりました。

僕がリーダー養成塾に参加した理由は、初めて学校を引っぱっていく生徒会執行委員になったことで、組織をまとめる力、積極的に行動する力、人との上手なコミュニケーション能力、課題を見つけ、解決策を考え、それをまとめて発表する力をつけるためです。そして、僕のリーダー像である「周りをよく見て行動し、信頼されるリーダー」近づくためでもあります。

1日目では柳原幸一塾長の講話、チームビルディングがありました。柳原幸一塾長の講話では、リーダーの物事に対する考え方などを学びました。特に心に残っている言葉は「失敗＝成長（失敗と書いて成長と読む）」です。この言葉を聞いて、失敗をネガティブに捉えていましたが、少しでも失敗をポジティブに捉えられるようになった気がします。チームビルディングではそれまではバスでも昼食の時でもほぼ無言だった仲間たちと活動を通して会話が増え、話しやすい雰囲気になり、より一層楽しい活動になりました。そこから、話しやすい雰囲気は大切だとわかりました。

2日目は、義務教育総括監青木孝憲先生の講話、初めての提案発表の準備などを行いました。義務教育総括監青木孝憲先生の講話では、どのようなリーダーが良いのかについて学びました。特に心に残っているのは「目的のない組織はだめでリーダーはチームが向かうべきビジョンを掲げ、メンバーを率いることが必要」という事です。実際に企画提案の話し合いなどで、白川村の担い手に関する課題を解決するという一つの目標がありました。それと、リーダーを中心に話し合いが違う方向に進んでいたら何を目的とするか確認して進めたことで、話し合いがスラスラと進み、良い結論が出ました。そこから、目的を定めることは大切だとわかり、今後の学校での話し合いで意識するようにしたいと思います。そして、2日目には班別自由散策や1日目の企画提案発表もあり、1日目よりも気楽に仲間と話せるようになりました。また、夜の自由時間にグループのみんなと残っていた作業をしたことも楽しかったです。

3日目には、ほぼ1日中企画提案発表の準備をしました。そして、ぎりぎり、リハーサルに間に合わせる事ができました。そして、そのリハーサルの様子を益川 浩一副塾長にみていただき、指導していただきました。そして、僕は1日の振り返りスピーチがありました。あまり良い文章ではなかったですが、なんとか自分の思ったことを伝えられました。それと、3日目には今までほとんど話さなかった人とも話で盛り上がる事ができ、人と話すことが上達したことを実感することができました。また、最後のみんなと過ごすことができる夜だったこともあり、談話室でみんなとトランプをするなどし、楽しかったです。

そして、4日目には最後の一大イベントである「地域課題への企画提案の発表会」がありました。僕たち以外のグループの人たちの発表では、自分の住んでいる地域の取り組みを企画に取り入れていたり、事実を言うとき、1つ1つ事実の根拠となる資料を示していたりと、とても説得力がありました。ほかに、例を挙げたり、寸劇を取り入れたりするなど発表がとても工夫されていて、すごいと思い、今後の自分の発表に生かしたいと思いました。また、自分達の発表前にはかなり緊張しましたが、無事発表をおわらせることができました。そして、その後に行われた閉塾式では、全員が修了証書を受け取り、ぎふ立志リーダー養成塾の活動が終わりました。僕が修了証書を受け取った時にはこの場所とこの仲間とお別れということにすごく寂しさを感じました。

僕はこの養成塾で人と話すことが上達したと思います。それには、周りの明るく、優しい雰囲気があったからだと思います。だから、僕も明るい雰囲気を大切にしたいです。そんな少し成長した僕ですが、開塾式の時から

ずっと考えていることがありました。それは自分が本当にリーダーに向いているのか、ふさわしいのかという事です。なぜなら、塾長の講話では質問した時にうまく言葉がまとまらず塾長が少し困っていたり、何かの発表でもあまり発表方法がわからず、止まったりしてしまいました。さらに、リーダーシップがあまりなく、意見をたくさん言う事ができないからです。また、文章を考えるのが苦手で、仕事が遅く、意見をまとめるのが下手で、期限ぎりぎりに提出物を出すことが多いということもあります。しかし、この研修で柳原幸一塾長が講話の中で、リーダーは「つくるもの」ではなく「できるもの」とおっしゃっていました。それに加え、「失敗は成長につながる」ともおっしゃっていました。ですから、失敗してもあきらめず、このぎふ立志リーダー養成塾で学んだことを活かし、努力して、よいリーダーになります。

そして、様々な学校のリーダーの仲間と共に大変貴重な経験をさせていただいたこと、感謝しかありません。ありがとうございました。

### 各務原市立川島中学校 3年 「My best memory ぎふ立志リーダー養成塾」

僕がこのぎふ立志リーダー養成塾へ参加しようと思ったきっかけは、学校の先生や先輩からご飯が美味しいと聞いたことがきっかけでした。それ以外にも、初めてのリーダーで困っていたという理由もありましたが、大半は美味しいご飯が食べられるなら行ってみようという軽い気持ちからでした。実際に行ってみてその噂のご飯を食べてみると本当に美味しかったです。疲れがなくなるくらいでした。今回のリーダー養成塾での活動で心に残ったことが2つあります。

1つ目は塾長さんのお話にあった「一生懸命頑張るって身につけた力は体の中にしまっておけばいつか必ず役に立つ時が来る」という言葉です。だから、今回ここで学んだことを覚えておけば将来必ず役に立つとわかりました。今回の経験を体の中の引き出しにしまっておいて将来ここで身につけた力を発揮して活かしていきたいと思いました。

2つ目は色々な子達がいたことです。中には生徒会長もやり、クラスの学級委員もやっている子がいたり、自分と同じ悩みを持っている子がいたり、面白い子たちも沢山いました。また、グループワークでも自分とは少し違う価値観を持っている人がいて、そういう考え方もあるのかと思いました。こうやって意見を出し合うことでよいプレゼンができることを学びました。僕はぎふ立志リーダー養成塾へ来る前までは、新しい環境で自分の意見をはっきり主張することが苦手でしたが、今回ここへ来てグループの仲間たちとプレゼンを作っていくにつれて、新しい環境でも自分の意見をはっきり主張できるようになりました。そして自分のリーダー像に向けて近づける第1歩となりました。

僕のなりたいリーダー像は「遊ぶときは遊んで、やる時はやる」という切り替えを大切にできるリーダーです。また、これを実践して、みんなに頼られ、頼って良かったと思われるようなリーダーになりたいです。このようなリーダーになるために僕は、これからの学校生活で、今回のリーダー塾で身につけた自分の意見をはっきりと主張することを意識して、リーダー会でも自分がリーダーとして引っ張っていけるように生活していきます。

## 本巣市立本巣中学校 3年 「リーダーとしてあるべき自分とは」

私がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加しようと思ったのは母から勧められたからでした。私は中学校で生徒会長として活動しています。活動していく中で、正直に言ってしまうと本当に私が生徒会長でいいのか、リーダーとしての役目がしっかり務まっているのか、など、沢山の不安を抱えていました。そして、今回本当のリーダーとはどんな人なのか、自分が目指すリーダー像である「自分の行動からみんなをまきこんで1つの輪の中心となり輝いてけるリーダー」に近づくためにどんな自分になっていけばいいのかという私の中にある疑問を解決するためにこのぎふ立志リーダー養成塾に参加しました。私がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加して学んだこと・心に残ったことは2つあります。

1つ目は柳原塾長が講義でおっしゃっていた、『リーダーはつくるものではなくできるもの』です。私はずっとリーダーは自分でつくっていくものだと思っていました。しかし、『リーダーをつくる』と聞くと柳原塾長もおっしゃっていたように、このリーダー養成塾に参加しているリーダーたちは十人十色、一人一人違うリーダーだということに気づき、たしかに、それぞれの学校でいろいろな考え方や思いをもったリーダーたちが生まれてくる、できていくのだということ学びました。

2つ目はグループワークです。最初ははじめて出会うリーダーたちでどんな人たちなのか不安ばかりでした。しかし4時間過ごす中で、沢山のリーダーを知ることができました。これこそ1つ目の『1人1人違うリーダー』というものであるのだと実感しました。また、企画提案を考えていく中でお互いに支え合うリーダーらしさが飛び交い、とても心に残っています。

この2つの学びや心に残ったことを踏まえて、私はリーダーの在り方を実感しています。たくさんいるリーダーでも、そのリーダーは1人1人違う。その言葉を聞いて、私でもリーダーでいいんだと思いました。

このぎふ立志リーダー養成塾を終えてこの先、自分がリーダーであるということに自信をもって、自分の目指すリーダー像である「自分の行動から、みんなを巻き込んで1つの輪の中心となり輝いていけるリーダー」になれるよう、まずは今の役割である生徒会長をやりきれよう、胸を張ってリーダーの役割を全うし、今後様々な場面で活躍していけるリーダーへと成長していきます。

## 中津川市立蛭川中学校 3年 「ぎふ立志リーダー養成塾に参加して」

僕はこのリーダー養成塾の応募の紙が渡されたとき、知らない人との関わりが得意でなかったもので、参加の意思はありませんでした。応募の紙を家に持って帰ってきたとき母に勧められ「友達と一緒になら」という理由で友達を誘って応募しました。しかし周りの友達は行けず僕だけで行くことになりました。学校だけでなく中津川市内でも僕だけが行くこと知り僕は不安な気持ちでいっぱいでした。それから事前課題も難しく周りは自分よりすごい人たちだらけなのではないかと不安がさらに募りました。

8月8日、リーダー養成塾が始まる当日、慣れない場所でバスに乗りずっとドキドキしていました。なんとか隣の子に話しかける事は出来ましたがそこではまだ仲良くなる事が出来ませんでした。最初の塾長の講義がはじまり、なんとか何か質問しなくてはならないとドキドキしながら手を挙げました。しかし塾長の返答を聞くと今後の自分のためとなる話でした。ドキドキだったのが質問して良かったという気持ちに変わりました。そこから部屋の移動があったり入浴があったりと仲間との交流が多くありました。ぎこちない会話ばかりしていましたが、その日の夜には部屋のメンバーは全員笑顔で楽しく過ごすことが出来ていました。他の講義でもリーダーのあるべき姿などについて学びました。その時僕が発表したのは「どんなことにも全力で取り組み、あの人なら一緒に頑張りたいと思えるようになりたい」という内容でした。そんなリーダーになっていくために全力で取り組んでいく

姿勢と相手の気持ちを察する力を最初の講義でもあったようにたくさん失敗を重ねながら経験を積みつけていきたいと思います。

白川郷の課題に対する企画提案はまわりの意見を出す凄さに少し押されてしまうところもありました。しかし割り振られた自分の担当の場所の原稿を完成させ、最終日の発表では恥ずかしがることなく堂々とマイクなしで話すことが出来ました。こうして最初は嫌だったこのリーダー養成塾も参加してみると楽しく、今では行って良かったという気持ちでいっぱいです。1日目ではあまり仲良くなれていなかった人たちとも最終日には完全に仲良くなることができ、このリーダー養成塾が終わった後も会いたいと思えるほどです。この3泊4日間とても楽しかったです。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

### 海津市立城南中学校 3年 「リーダーについて知れた3泊4日」

私がぎふ立志リーダー養成塾に参加しようと思ったのは、先生から勧められたことが大きくあります。勧められたときに、私は、リーダーとはなんなのか、リーダーはどのような人がリーダーと言えるのかを知りたく、参加しました。でも、私より頭が良い子が来るという、予想はできていたので、不安と心配が大きくありながらも応募しました。

実際に参加して、私は塾長さんのお話がすごく心に残りました。「失敗=成功」や「努力を積み重ねたものは、人生のどこかで必ず使う時が来るから、体の引き出しに入れ、残すことが大切」という言葉などが心に響きました。正直、まだ自分は高校や将来の夢が定まっていなく、何回も失敗を重ねてる自分だからこそ、恐れてしまうことが多いです。でも、塾長さんの講義のおかげで、失敗は自分を成長させるということが分かり、自分が選ばれるためには、自分にリーダーを任せてよかったと思ってもらえるようにすることが大切だと知り、嬉しかったと同時に、1つの心の支えとなって感謝でいっぱいです。

また、荻町のフィールドワークやモーニングウォークでは実際に見たり、体験したり直に触れ、肌で感じる事ができました。白川村のよいところ、課題を知り、チームの仲間とコミュニケーションをとったり、仲を深めたりすることができました。これらの事を踏まえて、これから私は、リーダーというものを恐れず、挑戦し、最後まで強い意志をもって粘り強く意見を伝えることができるように頑張れるような気がします。今まで恐れてしまって、一歩引いてしまった事を、逆に一歩踏み出して挑戦すること、意見を出してもだめだと思ってしまう、途中であきらめかけていたことがあったり、やめようかなと思ってしまったりしたことがあったけど、1人で抱え込まず、沢山のリーダーの意見を聞いてみたり、失敗を経験した人に実際に聞いたりして、最後まで、自分の意見をアピールし続けるようにしていきたいと思います。

私はこの先、1人で前に立って、リーダーをするのではなく、他人を巻き込みながら、自分にリーダーをまかせてよかったと思ってもらえるような、リーダーになりたいです。また、失敗を成長につなげ、リーダーというものをつくる土台にしていきたいと考えています。また、ぎふ立志リーダー養成塾で学んだことをたくさんの人に広めることを大切にしていきたい。

私は学校で、後期「生徒会副会長」に立候補しました。しかし、結果はついてこなかったけれど、この経験を糧にし、自分の心の引き出しに入れて、次に挑戦する気持ちを忘れないようにしたいと思います。また塾長に教えて頂いた30万時間の使い方を考え、これからの生活をバラ色のような生活にしていきたい。

ぎふ立志リーダー養成塾で学んだことで、学校や地域の中でどう実践できるかを考えました。それは2つあり、1つ目はクラスの仲間などに失敗を恐れず挑戦する心を知ってもらうことです。2つ目は、自分の市や町のよいところ、課題をPRし、発展させることはできるのではないかと考えています。地域の人など、たくさんの人を巻きこむことで、よい村おこし・町おこしをすることができると考えました。最後にぎふ立志リーダー養成塾では本当

にいい経験をしたので、これらの糧を大切に、これからの人生を生きていきたいと思います。

### 北方町立北学園 9年 「僕がすごした4日間」

僕はこのリーダー養成塾に参加しようと思った理由は、友達と参加できると思っていたからです。ですが、リーダー養成塾で過ごす 4 日間は自分にとって全くない経験でした。このリーダー養成塾に参加するまでは、自分が目指すリーダー像など考えたこともありませんでした。でも、他の仲間を見て、僕とは全く違うという事がわかりました。

4 日間の活動で心に残っている事は、塾長の方の話でした。自分の経験の話や、リーダーの話をしている時に、自分の中のリーダーについての考えがすごく変わりました。印象に残っている事は、D グループの仲間と、企画提案発表のため白川村の産業の事を調べ、プレゼンをつくって発表したことです。他にもこのリーダー養成塾に参加しなかったら、全くかわりもなかったみんなと友だちになれた事も印象に残っています。

この心に残っている事、印象に残っている事を踏まえて、自分はとても成長したと思います。学校生活でも最高学年の学級委員の仕事を頑張ったり、他にも体育祭の団リーダーを務めたり、学校で唯一このリーダー養成塾に参加したという思いで、いろいろな事をしてきました。自分のリーダーシップが物凄く伸びたと思いました。

僕がこの先どのようなリーダーになっていくのかは、まだわかりませんが、誰にでも優しく接するなど、リーダー養成塾で考えたリーダー像に近づけるように頑張りたいです。学んだことを自分の生き方につなげるために、リーダー養成塾で過ごした 4 日間を忘れずに、大人になっても思い出せるようにしたいです。中学校で過ごせる期間を大切に、学んだことを高校生活でも活かせると思うので、活かしていきたいです。僕は部活でバレーボールをやっています。バレーボールはチームスポーツなので、部活でも学んだことを生かされるように考えていきたいです。

リーダー養成塾に参加して、はじめはやっていけるかななどの不安の気持ちや、4 日間は長いという気持ちを持っていました。でも、みんなと友達になり、話をしていると、みんな自分の個性を持っていて、面白かったし、自分と同じ共通の趣味を持っている人や、スポーツをしている人との話は楽しかったです。リーダー養成塾のみんなと、大学生とのトランプは楽しかったし、談話室など、一つ一つの活動がすごく楽しかったです。リーダー養成塾で過ごした 4 日間は、忘れないと思いました。今後僕は色々な事をして、どんどん経験していくと思います。一つ一つの経験に、この養成塾で過ごした事や、経験を活かしていろいろな事したいです。

### 白川村立白川郷学園 9年 「私のなりたいリーダー」

私は小中学生が共に生活している義務教育学校「白川郷学園」の生徒会長をしています。ずっと同じ環境、仲間と育ってきた私は「他の中学にどんなリーダーがいるのか」「リーダーに向いている人とはどんな人なのか」が分からなく、不安に思っていました。そんな私にとって、その答えを見つけられるチャンスである養成塾に参加したいと思い応募をしました。

初めはワクワクした気持ちもあったけど、ほとんどは緊張と不安でいっぱいでした。そんな気持ちで始まったグループ学習が私にとって一番の成長につながる活動だったと思います。6人のグループでは、活動をしていく中で自然に「それぞれの役割」が生まれてきました。話し合いの進行をする人、積極的に意見を出す人、話し合いの様子を見ながらまとめる人、色々な人がいる中で、自分は何の役割も果たせていない、リーダーには向いていないんじゃないかと不安になりました。自分の意見を言うことも、相手の考えとぶつかることも避けていると、自分はグループの一員であるということすら感じなくなっていました。

そんなモヤモヤを持ったまま始まった講話では、その時の私に必要な考え方を得られました。講話でおっしゃっていたのは「話を進めるからリーダー、まわりを盛り上げているからリーダーではない。話し合いにはどの役割の人も必要で、皆がなりたい立場で、なりたいリーダーになれる」ということでした。その講習が終わってからは、自分がどんなリーダーになりたいのかを考え、自信をもってグループ活動ができました。その結果、仲間と考えがぶつかることもあったけど、それ以上に良いものにできた喜びが大きかったです。

また4日間を通し、自分が見つけたかった答えも見つけることができました。私になりたいリーダーは「自分が引っ張りながら、仲間と共に進んでいくリーダー」です。今回の養成塾で私は、仲間の1人も欠けず、全員で取り組むことの大切さがよく分かりました。だからこそ1人で走って先に進むのではなく、仲間に寄り添い、時にはぶつかり、共に道を探していける、そんなリーダーが私の理想です。今回私の考えを変えてくださったお話のように、私も1人1人を大切に、誰かの不安を除けるような人になりたいと強く感じました。

### 岐阜市立精華中学校 3年 「リーダーとしての成長」

私はぎふ立志リーダー養成塾に参加したことで人として、何よりリーダーとして大きく成長できたと思う。自分の目指すリーダーとはなんだろうと悩み、そしてどうすればそんなリーダーになれるだろうと思った。最初にどんなリーダーになりたい？と聞かれた時私はものすごく悩んだ。学校には、いろんなリーダーがいてみんなすごい。みんなをまとめたり、積極的に物事に取り組んだり、何かすごい得意なものがあったり、けれど私にはそこまで得意なものない。みんなをまとめる力もない。みんなの前で発表するのもそこまで得意じゃない。リーダーなんかに向いてないと思うのかもあった。しかしリーダー養成塾で自分の理想のリーダーを見つけてその理想のリーダーに近づけるように努力すればいいと言われ、私の理想のリーダー像は決まった。『みんなの意見を取り入れてみんなで作る新しいものを作り出せるリーダー』1人1人の意見を大切に、批判するのではなく全ての良いところを詰め込んだ意見が出せるリーダーそれが私の目指すリーダーとなった。

リーダー養成塾では、話し合いの場面が多くあった。話し合いでは積極的に意見を出すのが苦手な人も他の人に賛成したり、周りから様子を見て少し口を出したり、私はもっと積極的にならないと思っていた。しかし、話し合いの中にも役割があるのを知った。みんなの話し合いの中心となる人、周りから冷静に話し合いの内容を聞いてこうしたら？などアドバイスを出す人など。じゃあ話し合いでも、自分ができることから始めていこうと思った。私は人の意見を聞いて良いところを見つけるのが得意だ。だから周りの人の意見を聞いて、みんなの意見の良いところをノートにまとめられるようになりたいと思った。これも理想のリーダーになるために大切なことだと思った。

私はリーダー養成塾で苦手なことも克服することができた。人の前で発表することだ。リーダーは前で話すことが多いのに、私は人の目を見て話すのが苦手だった。人間はみんなジャガイモと思ってみんなの前で話していた。しかしリーダー養成塾で知らない子ばかりの中、どんな仕事してる？とかどんなリーダーになりたい？とかいろんなことを話しているうちに人見知りがなくなった気がした。いろんな子と話して友達になっていくことがとても楽しかった。そしてプレゼン本番、仲間たちと一生懸命考えたプレゼンは私の中で最高に良いものだった。私の班では、みんなの良いところを繋げて行って意見を出した。私はそのプレゼンを絶対成功させるという気持ちでみんなの前にたった。いつもみたいに緊張することはなく、原稿もすらすらよめた。とても楽しい瞬間だった。私は人の前で喋る快感のようなものを感じた。その後の質問にも答えることができた。

その後学校に帰ってからも、積極的に挙手発表が出来るようになって先生にも褒めていただきとても嬉しかった。

私はこのリーダー養成塾でリーダーとして大きく成長できたと思う。

## 可児市立東可児中学校 3年 「リーダーとは」

私がぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由は、生徒会長としてリーダーとはどんな姿であるべきかいつも悩んでいたからです。私は中学校に入ってから、毎日学校に行くのが楽しくなりました。その楽しさを全校に広げていきたいと思い目指した生徒会長でしたが、全校のリーダーとは何か答えは見つかっていませんでした。そんなとき、先生にぎふ立志リーダー養成塾のことを教えていただきました。自分なりの答えが出せるのではないかと思います、参加することを決めました。

私がぎふ立志リーダー養成塾に参加する前に考えていたリーダー像は、みんなのお手本となり、自分が目指す集団になるように引っ張って行ける人です。そして、みんなが過ごしやすく、楽しい環境を目指せる人が、リーダーとなるべきだと思っていました。そして、リーダー養成塾に参加した後もう1度“リーダーとは何か”という問いについて考え、答えを出しました。それは、「答えはない」です。リーダーの形にきまりはない、これが私の答えです。そして、ひとりひとりの答えも違うはずです。

私は、一時期「なぜ私の声かけでは動いてくれないのに、Aさんの声かけは聞くのだろう」と悩んだことがありました。しかし、根本的に間違いがあることに気がきました。言うことを聞いてもらうことがいつしか自分の目的になっていたのです。リーダーとして大切なのは、目標をはっきりさせること、見失わないこと、チーム全体が同じ方向を向いて活動できるようにすることです。目標を達成するためなら、Aさんの声かけを聞くことも正しいはずですが、だれがリーダーの役割をしても良い。同じ方向を向くことが大切なのだと思えました。

私がぎふリーダー養成塾で学んだことは2つあります。1つ目は、塾長である柳原幸一さんの講義でおっしゃった、「人生のどこかで努力したことを整理整頓して体の引き出しに入れておく」という言葉です。努力することは1つも無駄にならないからたくさん努力して、自分の中に蓄えていくことが大切だと学びました。これからも失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦していこうと思います。

2つ目は、「リーダーとは何かという問いに対する答えはない」ということです。リーダーには決まった形はなく、自然とできていくものなのだと思えました。大事なことは、チームとして目的を持ち、向かうべき方向に導いてモチベーションを上げることだと学びました。

今回のぎふ立志リーダー養成塾に参加したことで分かったことは、私と同じように高い志を持っている人が岐阜県の中だけでも大勢いるということです。各校のリーダーばかりが集まると、とても大きなことが達成できました。グループワークでは、私は決してリーダーではありませんでした。皆が同じ方向を向き、全員がエネルギーをもって取り組んでいたからです。味わったことのないことばかりで、どれも新鮮な感覚でした。ぎふ立志リーダー養成塾に参加したことで、多くの講師の方の講義を受け、多くの学びを得ることができました。また、沢山のかけがえのない友人を持つこともできました。これらの経験を学校生活だけでなくこれからの人生に繋げていきたいです。

## 美濃加茂市・富加町中学校組合立双葉中学校 3年 「仲間と自分の成長のために」

私が目指すリーダー像は、「仲間との関わりが深く、チームを正しい方向に導くリーダー」です。しかし、自分がリーダーとして、仲間とどのように関わればチームが一丸となって動くのか分かりませんでした。「チームの目標を果すために、「チームの一員として積極的に行動する力」「チームの中で自分のやるべきことを発見する力」を伸ばしたいと考え、ぎふ立志リーダー養成塾に参加しました。

私が特に印象に残っているのは、岐阜県教育委員会義務教育総括監の青木孝憲先生の講話と、岐阜大学副学長補佐(地域連携担当)、地域協学センター長・教授の益川浩一副塾長の講義です。青木先生の講話で

は、組織の中のひとつひとつの役割についての説明が興味深かったです。どんどん話を推進させる推進役の Mover、Mover が出した意見に補足したり同意したりする従者役の Follower、反対意見や別の提案を出す反対役の Opposer、距離を取って観察して全体を把握する観察役の Observer という4つの役割で組織ができるということと、その中の真のリーダーは、Observer だと教えていただきました。私は今まで真のリーダーは Mover だと思っていたので、チームを仕切り引っ張ることだけがリーダーの本質ではないことに気づかされました。チームで活動するメリットは、一人ではできない大きな仕事ができることや、自分が持っていない能力を仲間に補ってもらえることだと学びました。私は組織で活動するとき、チームに足りない能力や役割を見つけ、お互いに補っていくことが大切だと考えました。益川副塾長の講義では、人間関係・絆の重要性についての説明が印象に残っています。顔の見える距離における、あてにしあてにされる関係が重要であり、共同体験によって生じる「つながり」がコミュニティの良し悪しにまで関わる事を教えていただきました。後のグループワークでは、「つながり」を意識し、協調性をもちながら仲間とやるべきことを実行することができました。こういった共同体験によって「つながり」が深まり仲間と共に目標を達成することで、人間関係・絆の重要性を実感できました。

私の目指すリーダー像は「仲間との関わりが深く、チームを正しい方向に導くリーダー」です。しかし、今までは「自分がリーダーとして、チームの責任者として常に先頭に立っていなければならない」という仲間との「つながり」を深く考えていない思考をしていました。だから、仲間との「つながり」を深める機会を特別に設けていませんでした。しかし、講師の方々のお話や塾の仲間との活動から、良い組織として成り立つには「絆」や「つながり」が大切だと痛感しました。今後の私は、「仲間との『つながり』を大切にし、組織の不足部分を見つけ自ら補い、チームのスキルや団結力を高められるリーダー」を目指していきます。これからの学校生活では、委員長として委員全員の「つながり」を深めていくために、今まで以上に委員会の活動に精を出していきます。具体的には、日常から委員と積極的にコミュニケーションをとり、メンバーに安心感を与えたり、進捗状況を確認したりします。10月の体育祭では自分の委員会の仕事に関わる目標を掲げ、メンバーに動機づけをします。委員一人一人が活躍できる場をつくり、それに向けて共に練習する機会も設け、委員同士の「つながり」を深めていきます。その際は、チームの課題を発見して解決のために動くこともします。また、組織のルールや活動内容を見直すなどして、チームが成長、活動しやすい環境づくりにも励んでいこうと思います。

ぎふ立志リーダー養成塾に参加する前は「将来もリーダーに挑戦していこう」と思いはありませんでしたが、今はとても強く感じます。今後は自分の将来のリーダー像を描き直し続け、試行錯誤や失敗、成長を重ねていきたいです。

### 関ヶ原町立関ヶ原中学校 3年 「理想のリーダーになるために」

私がぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由はなんとなくのリーダー像をより明確にしたかったからです。私は3年生になり、初めて執行委員となり、全校での集会以外でも、生徒の手本となるように生活したり、協力して活動をするときに、みんなの中心になって指示をすることが今までよりも格段に増えました。しかし、執行委員として、学校の一人のリーダーとして「私は本当にこれでいいのか。全校を引っ張っていているのか。」と考え、その答えを見つけるためにこのプログラムに参加しました。集合場所に行くまでは、わくわく一割、不安9割でしたが、1日が終わるころには友達ができ、わくわくしかありませんでした。2日目からは新しくできた仲間と共にいろいろなことを学びました。その中でも特に心に残っているのは3つあります。

一つ目は柳原幸一塾長の「失敗した後どう自分を高めるか」という言葉です。「はっ」とさせられました。私は人前に立つときや、何かに取り組むとき、絶対に失敗してはダメと思ってしまい、新しいことにチャレンジできなかったり、不安で「もうやりたくない。」と思ったりしてしまいます。ですが、失敗するのがダメなことではなく、次にど

うつなげるかということの大切さに気付きました。

2 つ目は青木孝憲義務教育総括監の「指示だけ出すのではなく、ビジョンを掲げ、メンバーをやる気にさせる」「熱い思いを抱きつつも、冷静に物事を考える」というリーダー像についてです。私が考えるリーダーとは冒頭にも少し書きましたが、メンバーを引っ張っていくものだと想像していたため、「誰かに指示だけ出すことの何がダメなの?」と思っていました。しかし、その後の話で「自分が何の目的をもってその行為をさせられているかわからないと不満を持ち、チームの士気が下がるが、何の目的で行い具体的な内容が分かるとその目的に頑張れる。」と聞き、私自身も「〇〇やって」といわれるより「□□したいから〇〇やって」と言われる方が納得して活動を行えると思いました。それぞれが同じ目標に向かって、それぞれの想いで動ける仲間としての行動が大切だと気付きました。また、一つのことを考えると熱くなりすぎて実現可能が難しい内容になったり、目的とはずれたりしてしまうことがあるので、熱い思いを持つだけでなく、冷静に客観的に物事を見る力も養っていく必要があると気付きました。

3 つ目は益川浩一副塾長の拳手、拍手、握手の 3 つの手を行うということについてです。拳手は主体的、拍手は他者へのリスペクト、握手はつながるという意味があり、リーダーだけでなく、これから未来を担っていく私たち全員に大切なことだと感じました。

私はこの3つを踏まえて、リーダーがチームにしなくてはいけないこと、何かを成し遂げようとしたとき、熱い思いを抱くだけでなく冷静に物事を見て、目的とは違う方に進もうとした時に「ほんとにそれ、目的に合ってる?」と言えるようにしたいです。そしてこれらを有言実行するために、まずは9月にある体育大会の仕事では声かけをし、後輩にも親しんでもらえるように高圧的ではなく笑顔で自分から話に行こうと思います。また、生徒会種目決めでは、自分がどのような願いや思いをもってこれを押しているかしっかり伝え、それだけでなく相手の意見の思いを汲み取って、より良い案になるようあきらめず話し合っていきます。

### 羽島市立中央中学校 3年 「最高の同志と目指す真のリーダー」

私がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加した目的は、同じ志をもったリーダーに出会って、刺激を受けたい、真のリーダー像を見つけたいと思ったからです。そして、自分の意見を自分から発信する力を伸ばし、全体の意見をまとめあげる力を伸ばしたいと思いました。

養成塾の活動では、まず、講師の方に「リーダーとは何か」「どんなリーダーが真のリーダーと呼ばれる姿なのか」を教えていただきました。この話を聞いて、正直今まで日常から行えていたことは一部しかありませんでした。柳原塾長は、「人それぞれのリーダーがあり、主張や思いを大切にしてもいい。失敗=成功だ。」と教えていただきました。私は失敗をおそれて、自分の主張・意見を堂々と言えることが少ないです。ですが、これから、失敗してみよう!一回やってみよう!という前向きな気持ちで過ごし、例えそれが失敗だったとしても、仲間が助けてくれるよ!という言葉の思い出し、過ごしていきたいです。

そして、青木義務教育総括監は「リーダーは偉くて優秀な人ではなく、人の心を気持ちよく動かせる声かけができる人」、「目標を達成するために動ける人」、と教えていただきました。学校には、自分から意見を発信するのが難しいと思っている子がいると思います。私は、その子たちに話しかけやすい安心感を生むリーダーになりたいと思いました。

地域への企画提案では、初めて出会う仲間の中で自分の意見を言うことがとても難しい環境でした。でも、お互いがプレゼンを成功させようと意見を活発に言い合って、失敗、間違えることもあったけどそれ以上に、自分がこんなにも意見を言えるんだと思いました。それは周りのリーダーが活発に言い合う姿を見て、「自分も頑張らないと!」と刺激を受けたからです。屋外でのチームビルディングなどグループでの活動を進めるにつれて、

明るい空気感をお互いがつくり合い、個性あふれるグループだったなど今改めて思います。でも、それがプレゼンにもつながったし、「自分の意思表示をしよう!挑戦してみよう!」という思いの成長につながりました。

この先は、この養成塾を卒業した一因として、自分はチームで活動するときには、安心感を生む話しかけやすいリーダー、意見が言いやすい環境をつくれるリーダー、相手のために思って行動ができるリーダーなど、色々な人に、色々なところで認めてもらえるリーダーになっていきたいと思います。

今回は白川村で4日間過ごし、白川村について考えましたが、自分の住む地域にも実は知らなかった課題が見つかるのかもしれないし、改善できることがあるかもしれないので、もっと周りに目を向けて探していきたいと思います。地域以外にも学校にも改善できることが見つかるかもしれないので、学校の仲間と協力して、自分の役割を果たしていきたいと思います。本当に参加できてよかったです。ありがとうございました。

### 岐阜市立東長良中学校 3年 「合宿からできた『理想像』」

私は、この合宿に参加するまで、何に対しても自信を持つことができませんでした。「自分のやっていることは間違っているのではないか」や「自分が言っていることはおかしくないか」、「みんなのようにできているか」と不安や心配になってしまい、みんな(他の人)のしていることが正しいのだと思い、「追いつかなくちゃ」や「自分のしていることは正しくない」と自分の事を追い詰めてしまっていました。そこで私は「自分に自信をつけたい」と思い今回のリーダー養成塾に参加しました。

今回の合宿で学んだことは、ただ人の意見に耳を傾けるだけがリーダーではなく、「これをやりたい・やりたくない」と自分の意見や意思を言える人がリーダーであるという言葉に心が動かされました。また、リーダーの原動力・根本は認められたいという承認欲求からくるという言葉に強く共感し心に残っています。

私がリーダーになった理由は、誰かに認めてもらいたかったからです。誰かに認めもらうことで自信が持てると思いました。自分のしていることは間違っていなかった、おかしくないんだと思うことができるからです。

今回のリーダー養成塾を通して、自分が成長したと思うことは、グループワークなどの交流で少しでも自分の言いたかったことが言えたので、これは自分にとってとても成長したと思いました。また、仲間と楽しく、時には真剣にグループワークができたので、これも成長だと思えます。

私のリーダー像がはっきりしました。「広い視野を持ち、時と場合で臨機応変ができ、話しやすいリーダー」が私の理想とするリーダーです。

理想に近づくためにまずは「自分から」というのを目標に生活していきたいと思います。

無理をせず、自分のペースで!!

### 恵那市立恵那北中学校 3年 「私のこれからの30万時間」

私はこのリーダー塾に参加してとても成長できたと思います。初めはなんとなく申し込んだだけだったけれど、参加が決定すると「私なんかが行ってもいいのかな」と不安な気持ちでいっぱいになりました。私は今まで具体的な目標、こうなりたい!という目標を持っていませんでした。生徒会長も頑張りたい!とは思っていたけれど、どう頑張ればいいのかわからなく、こうなりたい自分もなかったため頼まれたことをこなすだけ、そんな日が続いていたのでした。なんとなくリーダー塾に申し込んだ私ですが、今では本当に参加できて良かったなどと心から思っています。なぜならこの4日間全てで一生の財産となる経験ができたからです。

リーダー塾初日、大きな不安を抱えて集合場所に行った私でしたが、それはみんな同じでした。話してみれば同じリーダーとして悩んでいることが一緒であるなど気が合う仲間ばかりでとてもとても楽しかったです。でも

自己紹介のときその仲間はみんな理想のリーダー像をもって、私だけがなんとか頭にパッと浮かんだことを言っただけでした。そんなモヤモヤした気持ちの中、塾長の講義が始まり「30万時間の過ごし方」という言葉がでてきました。この話を聞いた時、中学校を卒業してからの30万時間、私はどう過ごすのだろう。そんな自分の姿が全く想像できませんでした。このまま何も考えずに、何も成長せずに終わるのはイヤだ!そんな焦りを覚えて塾長にこう質問させていただきました。「まだ私はやりたいことが決まっていません。だから何に向かって頑張ればいいかが分かりません。」そう言う私に塾長は「目の前の目標を1つずつクリアしていけばいい。目の前の目標に対して101%の目標を立てればいいよ。」と、そう教えてくださいました。この話を聞いた時、私は「どんな自分になっていたか」という大きな目標のことばかり考えていました。塾長のおっしゃる通りにまずは目の前のある「どんな生徒会長になっていたか」から考えてみることにしました。私は「誰からも信頼されて、誰からも憧れられる生徒会長」になりたいです。そのためにまずはBチームのグループリーダーに立候補しました。

2日目のグループワークではいろいろな問題をグループのメンバーの持っているいろいろな力を合わせて解くということをやりました。ここでは仲間の大切さを学ぶことができました。私は今までみんなに役割を振るより自分がやったほうが良いと思って全て自分でやろうとしてきました。でも仲間に頼れるリーダーの方がきっと頼りやすいです。「メンバーの持つ能力を活かせるリーダー」になるには、仲間の力を最大限まで引き出して、どれだけやる気を起こさせられるかが重要ということに気がつきました。

3日目の益川先生の講義では「グランドルール」を教えてくださいました。このルールの中の「全員が同じ立場として話し合いに参加する」ということを聞いて、学校の話合いでは自分の意見に自信が持てずに発言ができないし、他の人の意見のほうがいいかな、と流されることがほとんどでした。でもこのリーダー塾での話し合いでは、自分の案をしっかりと提案することができて、リーダー塾に参加する前との変化に気づかされました。また、3日目は個人で練習する時間や原稿を作成する時間などが多かったけれど、わからないところを仲間に聞くなど「わからない」ということを恥ずかしいことと思わず言葉にすることができました。

最終日、いよいよ4日間、頑張ってきた成果を発表する日。私はこの企画提案発表会の総合司会を務めさせていただきました。みんなで考えて練習した企画案を精一杯述べることができました。最後の閉塾式。催事ホールに制服で集まったのは初日と同じでした。でも初日に抱えていた大きな不安はひとかけらもなく、大きな達成感で胸がいっぱいでした。今まで一緒に活動してきた仲間とはグループではなくチームになれたと思います。Bチームのみんなに出会えて本当に良かったです。みんなありがとう!

この最高の4日間で私は「誰からも信頼されて、誰からも頼られる生徒会長」になりたいという目標を見つけることができました。周りにはリーダーしか居ないような環境はこのリーダー塾だけです。相談に乗ってもらったり、同じリーダーならではの悩みを持っている仲間がたくさんいたり、その悩みの解消に向けてのヒントをくれた大学生サポーターの方達がいて、そんな仲間達と生活を共にし、1つのことに向かって協力していくうちに理想のリーダーとは何かが分かった気がします。このリーダー塾に参加できたことに誇りを持って、ここで学んだことを活かしてこれからの30万時間を過ごしていきたいです。そのためにさらに成長した生徒会長になれるように頑張ります。

最後に、ぎふ立志リーダー養成塾を開塾し関わってくださった職員のみなさん、そして学生ボランティアのみなさん、ありがとうございました。ここで出会った仲間は一生忘れられない宝物です!!もし機会があれば次は学生ボランティアとして、リーダー塾に参加する子たちのサポートに携われたらいいなと思っています。本当に素敵な思い出をありがとうございました。

## 北方町立南学園 8年 「4日間の成長」

私がこのリーダー養成塾に参加したのは、新しい仲間や経験ができると思ったからです。私のリーダー像などは考えていませんでした。ですが、塾長をはじめ、様々な方々から講義を受け、私の目指すリーダー像が浮かんできました。

私の学んだことや、心に残っていることは、A(担い手)グループの仲間たちとの意見交流です。初めのうちはみんな中々意見がはっきり言えませんでした。時間を共に過ごすにつれ、はっきりと自分の思っていることを話せるようになり、話し合いに進歩が見られました。時に考える事からずれてしまいそうなこともありました。そんな時は学生スタッフの人達からのアドバイスを受けながら話し合いを進めることができました。

私のこの研修での伸びは、自分の意見や考えに自信を持ち、話し合いに積極的に参加することです。研修前の私は図書委員長で、本をたくさん読んでほしいという思いをもってキャンペーンを行っていますが、生活整備や保健体育委員の行うキャンペーンほど“やらなくてはならないこと”ではないと思ってしまいどうしても強く呼びかけることができなかつたのです。しかし、今は必要性ではなく、私の「〇〇な学校にしたい」という願いを強く持ち、呼びかけることができると思います。

前に述べたように、私の目指すリーダー像は、自分の行いに自信を持ち、周りの人たちの心を動かし、共につきあがっていくことのできるリーダーです。はじめは存在すら認識していなかったリーダー像を考え、研修後には自分なりの答えを見つけることができました。まだ、夏休みで、発揮すること難しいかもしれませんが、私自身、確実に変わりました。

夏休み明け、そしてこれから中途半端な志ではうまくやっていけないでしょう。自分を信じ、強い志をもって生きていこうと思います。

## 郡上市立白鳥中学校 3年 『失敗』を武器にして、自分自身を超える」

僕がこのリーダー養成塾に参加した目的は、大きく2つあります。まず一つ目は、自分自身のリーダーとしての力を高めるためです。学校生活でリーダーとして活動していく中で、うまく意見をまとめられなかったり、自分自身の意見を強く主張してしまうというリーダーとしての課題がたくさんありました。その課題を改善し、新しい強みとなる力にするためには参加するべきではないかと考えたからです。2つ目は、多くの事を学び次の挑戦に活かすためです。このリーダー養成塾の募集チラシを見たときに「地域課題へのアプローチ」以外にも講話などの様々なプログラムがあり、リーダーとして大切なこと、必要なことを学べるのではないかと考えました。さらに、その学んだことが、自分自身の進路選択にも生かすことができると考えたからです。

このリーダー塾で1番心に残っているのは、初日と最終日の仲間の変化です。初日は互いに進んで話しかけたり、プログラムでの意見を出し合いまとめたりということが難しい場面が多く、学生スタッフの方々に頼ってしまうという姿がありましたが、共に活動を通して学んでいく中で徐々に意見を進んで発言する姿だけでなく、1人1人の意見を尊重しながら話し合いを進めようとする姿が増え、学生スタッフの方々に頼らない話し合いができるようになりました。それにより、初日にはなかった姿が多く生まれていたことが心に残っています。

そして、このリーダー養成塾の活動を通して、大きく2つのことを学ぶことができました。まず、1つ目は、柳原塾長の「失敗=成長」という考え方です。この考え方は講話を聞くまで、自分にはありませんでした。しかし、リーダー養成塾に参加して、「失敗」を悪いこととして捉えるのではなく、成長に繋がるものだという考え方を学ぶことができました。2つ目は仲間の意見を尊重することの大切さです。地域課題へのアプローチでの話し合いで、いくら1人1人が意見をもっていても、その意見を尊重しなければ、全員の意見を踏まえた話し合い、案をつくる

ことが難しく、実際にその姿が少なかった初日は、意見がまとまらず、行き詰ってしまう時が多くありました。しかし、徐々に仲間の意見を尊重する姿が増えていくにつれて、意見がまとまり、スムーズな話し合いができるようになりました。このことから、改めて、仲間の意見を尊重することの大切さについて学ぶことができました。そして、このような学びから、今までの「失敗」をそのままにして、成長にうまく繋がれなかった自分を変えて、「失敗」を自分の強みとすることができるようになりました。このことを、何度も挑戦してきた生徒会選挙や自分が目指す「誰よりも進んで行動できるリーダー」というリーダー像の実現や、自分自身の進路選択に生かしたいです。

### 大垣市立赤坂中学校 3年 「私の得たもの」

まず、私が今回のリーダー養成塾に参加した理由は、2つあります。1つ目は、今までリーダーとして頑張ってきた自分へのご褒美だと考えたからです。学級委員や生徒会執行部員としての活動をやっと認められたことをこの参加用紙を頂いて感じました。2つ目は、「本物のリーダーとは何か」という疑問が自分にずっとまとわりついてきたからです。疑問の答えを見つけない一心から応募に至りました。また、自分はどんなリーダーを目指しているのかあまり考えたことがなく、「有言実行でき、熱い意志を持つリーダー」というリーダー像をイメージしていました。しかし、自分は本当にイメージと重なっているか分からない状態だったので、自分が目指すリーダー像に近づいているか、目指すところは本当に合っているか、確認したいという気持ちが大きかったのもあります。そうして参加を決意し、ありがたいことに機会を頂くことができました。

この貴重な期間のうち、特に印象に残っている日は2日目です。2日目を大まかに思い出すと、歩く・聞く・話し合うでした。“歩く”という部分で、白川村を初めて観光しました。初白川郷だったので、見た瞬間嬉しい気持ちでいっぱいでした。その感激は、今でも鮮明に覚えています。観光中、小学生へのインタビューを中心に、自分たちのプレゼンに活かせる情報をたくさん集めました。

その後の“聞く”という部分でも、一般社団法人ホワイエの柴原さんからプレゼンへ大いに役立つ情報をたくさんいただきました。私たちは事前に白川村の課題や課題改善に向かうための企画提案をある程度考えてはいましたが、実際はどんなのかは全く知りませんでした。しかし、この講話の中で現実的な話を聞き、さらに白川村について調べようと試みるきっかけになりました。

最後に“話し合う”という部分で、頭が痛くなるほどに考え、意見をぶつけ合った本当に熱いグループワークでした。本格的にグループ活動が始動し、いよいよ近づく発表会に向けて、どんな企画案がいいかグループのみんなで考えました。正直自分の学校では、意見を言って進める立場でしたが、今回の養成塾では、初めてフォロワーとして、進行していく話し合いに付け足したり、一度立ち止まって最終ゴールはどこなのかを見直したりする立場にまわりました。この立場は私にとっても新しい体験で、とても新鮮でした。

また、自分の学校では、一つや二つほど意見が出て、だいたいどちらかを採用し、活動していきますが、養成塾では、自分と同じレベルまたは自分以上の志をもつ各学校のリーダーが集まっているので、刺激的な話し合いだったという印象がとても強いです。話が止むことがないくらいで、少し大変だったけど、慣れてくると逆に楽しいと感じられるようになりました。その活動を通じて、自己主張が苦手な私でも意見が言える空気感で、とても居心地がよく、意見を考えそれを仲間に伝えるという苦手が克服できたと感じています。意見を言える空気感に加えて、リーダーとして感じる悩みや困りごとを自然に相談したり、共感できたりする場でもありました。自分の学校ではなかなか話せなかったりすることが、他校の子とは話しやすいことに驚き、これからの人間関係に活かしたいと思いました。

そうして、あっという間に過ぎてしまったこの4日間を私の更なる成長に繋げるために今後について考えたいと思います。はじめに、自分の中のリーダー像についてです。参加当初は「有言実行でき、熱い意志をもつリー

ダー」を目指していました。でも、そのリーダー像に近づけたような気がします。そう思えた理由は、私達Aグループを担当してくださった、学生スタッフさんからのお言葉を頂いたからです。「責任をもって取り組んでいる姿勢がリーダー像に重なって、すごく良いと思ったよ」「自分で確立して責任をもって役割を果たす姿がステキでした」二人の言葉に、自信を無くしていた自分が救われたように感じました。周りに気づいてもらえたからこそ、自分がどれだけリーダー像に近づいているか分かって、本当に嬉しかったです。そして、学校や地域の中で具体的にどんな実践ができるかについては難しいかもしれませんが、白川村と同様に課題があり、その改善策が考えられていないかもしれません。しかし、自分が住む地域ですし、やることは何も変わらないと思うので、学んできたことはどんどん使っていきたいです。

最後に、今後の自分の生き方にどう活かしていくかということです。最高の一生物の思い出となったと感じています。思い出だけでは終わらせたくないほどの4日間をどこで活かすか、それは人生の全てにおいて、繋がるのではないかと考えました。現代社会で必要とされる力は特に、コミュニケーション能力だと感じています。私において自信のないこの能力を今回の養成塾で鍛えられたと実感しているので、まずそこで活かすことができます。コミュニケーション能力だけでなく、生きていく上で必要になってくる場面が必ずやってきます。なので、今回の貴重な経験は決して忘れられない、重要な1ページとして自分の中の本に刻まれました。これから先の人生で今回の経験を活かしたり、思い出したりする時が来たのなら、それが参加した本当の意味になるのではないのでしょうか？

### 岐阜市立本荘中学校 3年 「実感することのできた成長」

私は、中学校で委員長をしています。しかし、リーダー性がないのと、中心に立って行動することがあまり得意ではありません。なので、先生にぎふ立志リーダー養成塾の話聞いたときとても興味を持ちました。しかし興味の気持ちと同時に不安もありました。参加して余計に自信を無くさないか、リーダーの人たちと4日間も活動できるのか。たくさん悩みましたが、先生や親に相談していい機会だと思い参加しました。

実際に活動を通して、私は成長を実感しました。大きく心に残っていることは、グループでの活動、そして同じ部屋の仲間との時間、食事の時間です。グループ活動では、暗い雰囲気になったりもしました。しかし、学生スタッフがフォローしてくださったおかげで仲間さによりくなり、お互いに意見が言えるようになりました。同じ部屋の仲間との時間では、リーダーをしていて困っていることをお互いに話したりして、とてもいい時間でした。食事の時間では、最初のほうは緊張していて、話せませんでした。仲良くなるにつれ趣味などについて話し、とても有意義な時間でした。

夏休みが終わり、リーダーとして学校に戻り、成長を実感しています。大きく成長できたことは、2つあります。1つ目は、失敗を恐れずに何事にも挑戦ができるようになりました。私の性格上「失敗したらどうしよう…」などの無駄な心配をしてしまいます。しかし、塾長のお話を聞き、失敗を恐れず、前向きに取り組むことの大切さがわかりました。2つ目は、多くの意見をまとめ、みんなが納得する提案ができるようになりました。この2つのことは学校生活の上でとても生かしています。この養成塾を通していろいろなことが学べ、とてもいい経験だったなと思っています。

これからは、リーダーとして支えていく立場になりたいです。一人一人の意見を大切に提案をして、リーダーを任せてよかったと思ってもらえるように活動していきます。

## 鶯谷中学校 3年 「真のリーダーとは何か」

僕がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由は、自分の求めるリーダー像を見つけるためです。参加する前の自分は、自分が目指すリーダー像が何なのか分からず、ただリーダーをやっているだけでした。でも、そんなことではみんなはついてこない。このまま成果を出さずに終わっていただけになってしまう。そう思いリーダーとしての自分を変えるためにこの研修に参加しました。

ぎふ立志リーダー養成塾に参加して、リーダーシップの重要性や自己成長の可能性を実感する貴重な経験を得ることができました。最初は不安と緊張がありましたが、同じ志を持つ仲間たちと共に学び、切磋琢磨する中で、自分の視野が広がり、自己の課題に向き合うことができました。講師の先生方の話を聞いていく中で、リーダーとは単に人の前に立って、ただ率いるだけでなく、自らが率先して行動し、他者に影響を与え巻き込んでいける人のことを指すということが分かりました。そして自分で課題を見つける力、自分で課題を解決する力、仲間と協力して何か一つのことを完成させることのすばらしさを学ぶことができました。さらにリーダーシップに必要なのは単に技術や知識だけではなく、自己認識や自己管理能力も大切だと分かりました。プログラムを通じて、自分自身の強みや弱みを見極め、それをどのように活かしていくかを考える機会が多く、その都度、自問自答することができました。

白川村の地域課題のプロジェクトでは、一見あまり問題のなさそうな観光という面においてもたくさんの課題があり、村の主要な産業であるのに課題がたくさんあることに驚きました。白川村だけではなく全国の多くの市町村で同様の課題があり、これは日本の課題であるとも感じました。

課題解決に向けてグループで一つの提案を作成しましたが、思っていた以上に大変でした。人それぞれ意見を持っているため、その意見をまとめみんなが納得できる1つの意見を作るには多様な意見や価値観を尊重しながら作業をする必要があります。リーダーシップ力を試されている気がしました。この経験を通して、リーダーには柔軟性と共感性が大切であることを学びました。僕は今まで自分以外の意見を取り入れることがあまりありませんでした。しかし、4日間同じ仲間と顔を突き合わせて議論をしていくうちに、他人の意見を取り入れ、自分の意見をよりよくしていけるようになったと実感しています。また、自分の価値観が少し変わったと思います。全く知らない子たちと4日間過ごすことで、全く違う視野で世界を見ている人もいることがとても新鮮で、あらためて世の中には色々な考えの人がいると気が付くことができました。このような学びを得たことで、自分の中でリーダーシップに対する考え方が大きく変わったと思います。リーダーとは、単に指導・誘導するだけでなく、他者を支え、彼らが最大限の力を発揮できるようにする役割を持つ存在です。そして、それを実現するためには、自己成長を続け、自分自身を高めることが必要不可欠であると強く感じました。

さらにこの研修ではリーダーとして学ぶことのほかに人間関係も大切なものとなりました。今まで他校の同じような志を持つ人との交流がありませんでした。そんな中、このように同志と集まり寝食を共にできたことはとてもいい経験となりました。この場で得た出会いや経験を通して、リーダーとしての自分に少し自信を持つことができたと思います。僕はこのぎふ立志リーダー養成塾を通して、真のリーダーに求められるのは、単純にリーダーシップだけではなく柔軟性や共感性など様々な力が必要になってくるということが分かりました。また、今回参加することで自分自身をより深く理解し、成長するための大きな一歩を踏み出すことができたと思います。この経験を通じて得た知識やスキルを、今後のリーダーシップ活動に活かし、他者に良い影響を与えるリーダーとなることを目指していきたいと思います。そして今後も自分の目指す真のリーダーに向けて、日々学校などでのリーダーとして率先して動き、将来的には世界にも通用するリーダーへと成長していけるよう努力していきたいと思います。

## 関市立旭ヶ丘中学校 3年 「新たな自分になるために」

私が、このぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由は、2年生の後期から部長や委員長をやっていくうちに、リーダーとして人をまとめ、的確に指示をすることの大変さを知ったからです。私は委員会などでみんなの前で話すことに苦手意識をもっており、リーダーとしての威厳を出せず、少しみくびられているようなリーダーでした。このままではダメだ、自分が思い描いていたリーダー像“この人なら任せられる安心感・信頼があるリーダー”とは程遠く、他のリーダーとの差を感じ、自信を無くしていました。そんな時にこの話を聞き、目指すリーダー像に近づくためのヒントや考えを改めるために参加を決めました。参加して学んだことは2つあります。1つ目は柳原幸一塾長の講話です。「ここにいる24人全員が全く同じリーダーだったら面白くないからみんな違っていい」という言葉から、私は他のリーダーと違うからダメではなく、私は私とすることができました。また、このことを1日の振り返りに書くと、学生スタッフからこんな言葉をもらいました。「リーダーには様々な形があるべきだけど、全て異なろうとしなくてもいい“まねして・考える” 良い所は取り入れ、プラスαで自分なりに考えることで唯一の最強のリーダーにつながる」と書いてくださいました。この言葉から、「あ!今の私に必要なのはこれだ!」と思い、これから物事を考えるときに重要な考え方を見つけることができました。

2つ目、青木孝憲先生の講話です。青木先生が思うチームで活動していくことのメリットは、「一人でできないような大仕事ができたり、自分のもっていない能力を補い合ったりすること」とおっしゃっていました。この話を聞いて、自分だけでやろうとすると空回りしてしまったり、上手く全体に情報共有ができなかったりして、自分自身がしんどくなってしまいます。人に助けを求めることは“恥”だと思わず、思い切って助けを求めてみようと思いました。この講話を聞き私の目指すリーダー像は“この人なら任せられる安心感・信頼があり、周りに助けを求められるリーダー”へと変わりました。

さらに、私はぎふ立志リーダー養成塾に参加して成長したこともあります。

まずは自分の目指すリーダー像が決まったことです。

今まで、曖昧にしていたあまり深く考えていなかったのですが、このような機会だからこそ色々なことについて改めて考えることができました。自分が躓いていたりした時は初心を思い出して行動していきたいです。次に、塾生の仲間に対して意見がはっきりと言えるようになったことです。

1日目は遠慮をし、あまり話すことができなかつたけど、日にちを重ねていくごとに話しかけられる人も増え、新たな一面も見つけることができ、グループ内の雰囲気もよく活動することができました。

グループ内では、周りの話をよく聞き、自分が思いついたことや何かおかしいと思ったら意見を言い、正しい方へと導く反対者という役割を担い、自分でやるべきことを全うできた4日間だったと思います。小さなことも挑戦してみると意外にできたりして今までやってきた経験が無駄ではなく、ここで活かせたことが私の成長です。

私はぎふ立志リーダー養成塾での4日間を通して目指すリーダー像である“この人ならまかせられるという安心感・信頼があり、周りに助けを求められるリーダー”になりたいと思います。参加してまた自分の新しい一面を見つけることができ、いろいろな意味で新たな自分を見いだすことができました。何か悩んだときは、最初に戻り何がしたかったのかなどを思い出したり、周りの人に聞いたりして解決していきます。

ここで学んだことは、リーダーや日常生活でも活かすことができます。特に、まねして考える事、努力は無駄にならないからいつかのためにがんばっておくなど、今後の生活に活かしていきたいです。学校では、10月まである生徒会の仕事で後悔のないように、挑戦し続けたいです。時が経つにつれて目指す姿は思いや行動によって変化していくため、広い視野や対応できる知識や経験を積み重ねていき次のチャンスへとつなげていきたいです。

### 羽島市立竹鼻中学校 3年 「積極性を持って」

私がリーダー養成塾に参加した理由は、自分が目指すリーダー像の答えを見つけるということもあるけれど、一番は会ったことも話したこともない人たちに、自分から話しかけられるようにしたいと思ったからです。

活動において学んだことは、講義での「リーダーとは、つくるものではなく生まれてくるもの」という言葉から、リーダーはただ偉くて優秀だけでは良くなって、目的を達成するために行動し、結果を出せる人がリーダーに向いているので、改めて自分のすべき事や目標について考えられたことです。

心に残っていることは、プレゼン発表のために実際に白川郷を見て回ったことや、グループで企画提案について話し合ったことです。白川郷を見て回っている時に、日本人観光客だけでなく、外国人観光客にも積極的にインタビューをすることができたことや、インタビューをしている最中に全員が周りに集まったことがグループがまとまっていると感じることができてうれしかったです。グループ内で企画提案について話し合っている時に、初めは自分から意見を出すことが少なかったり、すれ違いが生じて泣いてしまった子がいて、少し不安だったけれど、たくさん交流していったり、大学生のスタッフの方たちと話していく上で、だんだんとチームとしてまとまっていくことができ、最終的には素晴らしいプレゼンをつくれて良かったです。

これらの経験を踏まえて知らない相手でも積極的に話しかけられるようになったことや、どうすれば相手が納得できるかなど、考えて発言できるようになったと実感しています。

成長できたことを活かして、この先、周りを見て行動し、物事は最初に行うことができるような、自分からもっと成長できるようにしていきたいです。そのために、これからの学級での話し合いの時などには、いつもとは異なる視点から意見を出して、視野を広く持てるようにしたいです。したがって、私は、この先みんなを正しい方向へ導き、周りを持ち上げられるようなリーダーになりたいです。とても楽しく良い経験になった 4 日間でした。本当にありがとうございました。

### 岐阜東中学校 3年 「新しい理想のリーダー像」

僕はこのリーダー養成塾を通して得られたことが二つあります。

1つ目は理想のリーダー像についてです。僕がこの養成塾に入ろうと思ったきっかけは友達に、「面白そうだし一緒にいかない？」と誘われたことです。そのため、リーダーとしてこんなことに困っているとこもなく、軽い気持ちで参加しました。ですが、こんな気持ちで参加した僕も「こんなリーダーになりたいな」というものはありました。それは「指示するのではなく、自分から動けるリーダー」です。指示だけされても聞きたくないと思うので、行動で示せる人になりたいと思ったからです。でも、この養成塾でその考えは正しいけど足りないなと思いました。そう思ったきっかけは、柳原塾長の講義を聞いたことです。僕はこの話を聞いて感じたのは、失敗を恐れなくて挑戦することが大事ということです。この話を聞いて、僕は逃げていたんだなと思いました。行動で示すといっても、いつも自分と何人かで終わらせてしまっていたりして、皆に呼びかけようとしなかったなと思ったからです。本当にやるべきなのは自分が行動しつつ、皆を巻き込んでいけることだなと感じました。

2つ目は企画提案についてです。今まで社会科などで少し取り上げたり、ニュースで見たりするだけだった人口減少などの問題に実際に調べて対策を考えることが初めてで、思っていたより複雑で大変だなと感じました。僕は初め、人にどうやって移住してもらうかが大事だと思っていました。ですが、白川村のことを調べていくうちに、実際の問題は家不足と、村外への流出でした。このように深く調べることで真の課題が見えてくるのが分かり、常に本当の課題は何か日頃から考えることが大事だなと思いました。また、グループワークでは、みんなの意見を一番尊重しつつ、よくなる方法を探すのが難しく、助けられてばかりでしたが、協力して企画提案発表

ができてよかったです。

これらの2つから、僕が目指すリーダー像は、「自分から動き、皆を巻き込んで行動できるリーダー」で、ミスなどをできてしまっていたときにはなぜそうだったか、本当の課題は何かを常に考えられる人になります。そして、日々失敗を恐れず、行動できる人になります。

### 養老町立高田中学校 3年 「何かをさがして」

私は中学校で生徒会長をやっています。でもそれは自分が強く「やりたい!」と願ったからではなく、担任の先生や友人、親から「やってみなよ。経験して損はないよ」というように言われたからです。そして今回のぎふ立志リーダー養成塾も同様でした。いつもなら勧められたらそのまま頑張るのですが、今回は自分の中で心理的葛藤がありました。中3の夏は高校受験勉強の夏であり、自分として「受験勉強して苦手を克服したい」という思いが強くありました。だから養成塾が決まっても、前日まで参加しようかずっと悩んでいました。そうしているうちに白川村へ着きました。私はここで何をしたいのか分からずに講義を受けました。初めに、「皆さんの思うリーダーとは何ですか」と聞かれました。私は「命令して率いるボスではなく、仲間と同じように働き、率いるのがリーダー」というように考えていました。これは中学の先生が言っていた言葉です。しかし、ある学生スタッフの方が言っていました。「リーダーとは、植木鉢のような存在だ。仲間を育てるのではなく、仲間を包み見守る存在だ」と。私はこの時からリーダーとは何か具体的に考えていきました。今思えば、この学生スタッフの方の言葉が私を気づかせてくれる「鍵」だったのかもしれない。

1日目、2日目は何事もなく、ただただ平穏過ぎていきました。しかし、3日目になって私達に問題が起こりました。企画提案をグループ全員で考えていた午前中、ある1人が泣き出したのです。私たちは理由が分からないまま昼食を食べました。美味しい昼食でしたが、食べた感じがしませんでした。この2日間、笑顔で食べていた食事の時間で、初めて笑顔になれませんでした。そして午後、グループ全員が集まって学生スタッフの方に言われました。「みんな、自分の意見を通してない?自分の考えが他人の考えと一緒に思い込んでない?自分の意見を言えないまま進んでいくのはどうなの?」と。私はこの時思いました。グループ全員で行っていた話し合いは、実はグループ全員ではなかったことを。そこから、話し合い話し合いの雰囲気が変わりました。何とも言えない重々しい空気が何でも包み込んでくれる温かい空気に。自分でも何が変わったのか分からないけれど、何かが変わったことは分かりました。このことからリーダーとは自分の意見や考えたことを言い、みんなを引っ張る存在ではなく、みんなの意見を等しく尊重し、より良い意見へと導く、包容力のある存在なのだ学ぶことができました。それからの私は、自分の意見こそが正しいと押し通すのではなく、第3者視点のように視野を広く、見守る、包容力を身に付けることができました。

私をはじめ、「何か」を得るために参加したと言いましたが、その「何か」とは、真のリーダーとしての包容力だと思っています。そして、植木鉢の意味に気づきました。では、この力は、いつ生きてくるのか。それは人生全てです。学生の時、これからも仲間同士の意見の対立があるでしょう。そういう時に、衝突にのめり込み過ぎて、視野が狭くなるとは意味がありません。常に視野を広く持っていれば、今自分がやるべきことが分かります。社会に出た時に、上司や後輩が、自分に何を求めているのか分からない時があるとします。その時は、包容力=すべてを見れる力=異なる視点から考える力により、相手との関わりが深くなります。参加する前の不安な気持ちは、今、確かな自信に変わっています。私は、この養成塾で経験した全てを使って、これから真のリーダーとして活躍しています。

## 垂井町立垂井北中学校 3年 「成長できた4日間」

まず、このリーダー養成塾に参加した理由は、親にプリントを見せたところ、父と母に「行ってみたら？きっと良い経験になるよ!」と、強く勧められたからです。そして、行くからには自分が目指す「みんなのために進んで動き、周りを気に掛けるリーダー」に近づくためにリーダー養成塾での活動を通して、共感力やコミュニケーション能力などの力を伸ばしたいという目的をもってこの塾に参加しました。4日間の色々な活動を通して学んだことはたくさんあります。

まず1つ目は、1日目、白川郷に着いてすぐの柳原幸一塾長による塾長講義です。この講義では、死ぬまでの残り時間の大切さや、リーダーであることの原動力とは何か、失敗することを恐れずに挑戦してみることが大切だということ、など心に残るお話がたくさんありました。このお話を通して、自分が今まで考えていたことは少し間違っていて、リーダーとはつくるものではなく、自然とできていくものだと知りました。そしてそれぞれの思いや、気持ち、行動などによって全員が違うリーダーになれる。自分がなりたいリーダーになるためには、常時現時点の10%くらいの小さい目標を立てて達成する、これを繰り返していくことでモチベーションを上げることができ、自分の目指すリーダー像に向かって真っすぐ頑張り続ける事ができると教えていただきました。この教えをこれらの生活に取り入れ、役立てていきたいと思います。

2つ目は6回ほどのグループワークを通して感じたコミュニケーションの大切さです。最初のバスではみんな緊張していて話しかけようと思っても話しかけられない自分がいました。でも、チームビルディングやグループワークをとおして、ここにいるみんなは自分と考えていることが似ているということに気づき、少しずつ仲良くなりました。最終日は地域課題への企画提案発表があり、同じグループのみんなと頑張ってきたことをしっかりと発揮することができてよかったです。そして改めてコミュニケーションをとることの大切さを知り、これからはなるべく自分から相手に話しかけようと思います。

これらの学んだことを踏まえて、今は周りに任せっきりせず、自分から進んで行動する力が付いたと実感しています。これを学校でも活かし「みんなのために進んで動き、周りを気に掛けることができるリーダー」を目指しています。

リーダー養成塾に行く前は、とても不安だったけど、終えた今は行って良かったと心から思います。面白い仲間達、美しい自然、美味しいごはん、この4日間、長いようで短い、とても楽しくて幸せな時間でした。本当にありがとうございました。ここで学んだことは、これからの人生のどこかできっと役に立つと思います。ぎふ立志リーダー養成塾に参加した一員として立派なリーダーとなります。

## 塾生の感想 ～プログラムを終えて～

### 羽島市立桑原学園 8年「よいリーダーになるために」

僕はこの研修を通して努力すること、積極的な行動、そして、志を持つことが大切だと分かりました。

僕がリーダー養成塾に参加した理由は、初めて学校を引っぱっていく生徒会執行委員になったことで、組織をまとめる力、積極的に行動する力、人との上手なコミュニケーション能力、課題を見つけ、解決策を考え、それをまとめて発表する力をつけるためです。そして、僕のリーダー像である「周りをよく見て行動し、信頼されるリーダー」近づくためでもあります。

1日目では柳原幸一塾長の講話、チームビルディングがありました。柳原幸一塾長の講話では、リーダーの物事に対する考え方などを学びました。特に心に残っている言葉は「失敗＝成長（失敗と書いて成長と読む）」です。この言葉を聞いて、失敗をネガティブに捉えていましたが、少しだけ失敗をポジティブに捉えられるようになった気がします。チームビルディングではそれまではバスでも昼食の時でもほぼ無言だった仲間たちと活動を通して会話が増え、話しやすい雰囲気になり、より一層楽しい活動になりました。そこから、話しやすい雰囲気は大切だとわかりました。

2日目は、義務教育総括監青木孝憲先生の講話、初めての提案発表の準備などを行いました。義務教育総括監青木孝憲先生の講話では、どのようなリーダーが良いのかについて学びました。特に心に残っているのは「目的のない組織はだめでリーダーはチームが向かうべきビジョンを掲げ、メンバーを率いることが必要」という事です。実際に企画提案の話し合いなどで、白川村の担い手に関する課題を解決するという一つの目標がありました。それと、リーダーを中心に話し合いが違う方向に進んでいたら何を目的とするか確認して進めたことで、話し合いがスラスラと進み、良い結論が出ました。そこから、目的を定めることは大切だとわかり、今後の学校での話し合いで意識するようにしたいと思います。そして、2日目には班別自由散策や1日目の企画提案発表もあり、1日目よりも気楽に仲間と話せるようになりました。また、夜の自由時間にグループのみんなと残っていた作業をしたことも楽しかったです。

3日目には、ほぼ1日中企画提案発表の準備をしました。そして、ぎりぎり、リハーサルに間に合わせる事ができました。そして、そのリハーサルの様子を益川 浩一副塾長にみていただき、指導していただきました。そして、僕は1日の振り返りスピーチがありました。あまり良い文章ではなかったですが、なんとか自分の思ったことを伝えられました。それと、3日目には今までほとんど話さなかった人とも話で盛り上がる事ができ、人と話すことが上達したことを実感することができました。また、最後のみんなと過ごすことができる夜だったこともあり、談話室でみんなとトランプをするなどし、楽しかったです。

そして、4日目には最後の一大イベントである「地域課題への企画提案の発表会」がありました。僕たち以外のグループの人たちの発表では、自分の住んでいる地域の取り組みを企画に取り入れていたり、事実を言うとき、1つ1つ事実の根拠となる資料を示していたりと、とても説得力がありました。ほかに、例を挙げたり、寸劇を取り入れたりするなど発表がとても工夫されていて、すごいと思い、今後の自分の発表に生かしたいと思いました。また、自分達の発表前にはかなり緊張しましたが、無事発表をおわらせることができました。そして、その後に行われた閉塾式では、全員が修了証書を受け取り、ぎふ立志リーダー養成塾の活動が終わりました。僕が修了証書を受け取った時にはこの場所とこの仲間とお別れということにすごく寂しさを感じました。

僕はこの養成塾で人と話すことが上達したと思います。それには、周りの明るく、優しい雰囲気があったからだと思います。だから、僕も明るい雰囲気を大切にしたいです。そんな少し成長した僕ですが、開塾式の時から

ずっと考えていることがありました。それは自分が本当にリーダーに向いているのか、ふさわしいのかという事です。なぜなら、塾長の講話では質問した時にうまく言葉がまとまらず塾長が少し困っていたり、何かの発表でもあまり発表方法がわからず、止まったりしてしまいました。さらに、リーダーシップがあまりなく、意見をたくさん言う事ができないからです。また、文章を考えるのが苦手で、仕事が遅く、意見をまとめるのが下手で、期限ぎりぎりに提出物を出すことが多いということもあります。しかし、この研修で柳原幸一塾長が講話の中で、リーダーは「つくるもの」ではなく「できるもの」とおっしゃっていました。それに加え、「失敗は成長につながる」ともおっしゃっていました。ですから、失敗してもあきらめず、このぎふ立志リーダー養成塾で学んだことを活かし、努力して、よいリーダーになります。

そして、様々な学校のリーダーの仲間と共に大変貴重な経験をさせていただいたこと、感謝しかありません。ありがとうございました。

### 各務原市立川島中学校 3年 「My best memory ぎふ立志リーダー養成塾」

僕がこのぎふ立志リーダー養成塾へ参加しようと思ったきっかけは、学校の先生や先輩からご飯が美味しいと聞いたことがきっかけでした。それ以外にも、初めてのリーダーで困っていたという理由もありましたが、大半は美味しいご飯が食べられるなら行ってみたいという軽い気持ちからでした。実際に行ってみてその噂のご飯を食べてみると本当に美味しかったです。疲れがなくなるくらいでした。今回のリーダー養成塾での活動で心に残ったことが2つあります。

1つ目は塾長さんのお話にあった「一生懸命頑張るって身につけた力は体の中にしまっておけばいつか必ず役に立つ時が来る」という言葉です。だから、今回ここで学んだことを覚えておけば将来必ず役に立つとわかりました。今回の経験を体の中の引き出しにしまっておいて将来ここで身につけた力を発揮して活かしていきたいと思いました。

2つ目は色々な子達がいたことです。中には生徒会長もやり、クラスの学級委員もやっている子がいたり、自分と同じ悩みを持っている子がいたり、面白い子たちも沢山いました。また、グループワークでも自分とは少し違う価値観を持っている人がいて、そういう考え方もあるのかと思いました。こうやって意見を出し合うことでよいプレゼンができることを学びました。僕はぎふ立志リーダー養成塾へ来る前までは、新しい環境で自分の意見をはっきり主張することが苦手でしたが、今回ここへ来てグループの仲間たちとプレゼンを作っていくにつれて、新しい環境でも自分の意見をはっきり主張できるようになりました。そして自分のリーダー像に向けて近づける第1歩となりました。

僕のなりたいリーダー像は「遊ぶときは遊んで、やる時はやる」という切り替えを大切にできるリーダーです。また、これを実践して、みんなに頼られ、頼って良かったと思われるようなリーダーになりたいです。このようなリーダーになるために僕は、これからの学校生活で、今回のリーダー塾で身につけた自分の意見をはっきりと主張することを意識して、リーダー会でも自分がリーダーとして引っ張っていけるように生活していきます。

## 本巣市立本巣中学校 3年 「リーダーとしてあるべき自分とは」

私がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加しようと思ったのは母から勧められたからでした。私は中学校で生徒会長として活動しています。活動していく中で、正直に言ってしまうと本当に私が生徒会長でいいのか、リーダーとしての役目がしっかり務まっているのか、など、沢山の不安を抱えていました。そして、今回本当のリーダーとはどんな人なのか、自分が目指すリーダー像である「自分の行動からみんなをまきこんで1つの輪の中心となり輝いてけるリーダー」に近づくためにどんな自分になっていけばいいのかという私の中にある疑問を解決するためにこのぎふ立志リーダー養成塾に参加しました。私がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加して学んだこと・心に残ったことは2つあります。

1つ目は柳原塾長が講義でおっしゃっていた、『リーダーはつくるものではなくできるもの』です。私はずっとリーダーは自分でつくっていくものだと思っていました。しかし、『リーダーをつくる』と聞くと柳原塾長もおっしゃっていたように、このリーダー養成塾に参加しているリーダーたちは十人十色、一人一人違うリーダーだということに気づき、たしかに、それぞれの学校でいろいろな考え方や思いをもったリーダーたちが生まれてくる、できていくのだということ学びました。

2つ目はグループワークです。最初ははじめて出会うリーダーたちでどんな人たちなのか不安ばかりでした。しかし4時間過ごす中で、沢山のリーダーを知ることができました。これこそ1つ目の『1人1人違うリーダー』というものであるのだと実感しました。また、企画提案を考えていく中でお互いに支え合うリーダーらしさが飛び交い、とても心に残っています。

この2つの学びや心に残ったことを踏まえて、私はリーダーの在り方を実感しています。たくさんいるリーダーでも、そのリーダーは1人1人違う。その言葉を聞いて、私でもリーダーでいいんだと思いました。

このぎふ立志リーダー養成塾を終えてこの先、自分がリーダーであるということに自信をもって、自分の目指すリーダー像である「自分の行動から、みんなを巻き込んで1つの輪の中心となり輝いていけるリーダー」になれるよう、まずは今の役割である生徒会長をやりきれよう、胸を張ってリーダーの役割を全うし、今後様々な場面で活躍していけるリーダーへと成長していきます。

## 中津川市立蛭川中学校 3年 「ぎふ立志リーダー養成塾に参加して」

僕はこのリーダー養成塾の応募の紙が渡されたとき、知らない人との関わりが得意でなかったもので、参加の意思はありませんでした。応募の紙を家に持って帰ってきたとき母に勧められ「友達と一緒になら」という理由で友達を誘って応募しました。しかし周りの友達は行けず僕だけで行くことになりました。学校だけでなく中津川市内でも僕だけが行くこと知り僕は不安な気持ちでいっぱいでした。それから事前課題も難しく周りは自分よりすごい人たちだらけなのではないかと不安がさらに募りました。

8月8日、リーダー養成塾が始まる当日、慣れない場所でバスに乗りずっとドキドキしていました。なんとか隣の子に話しかける事は出来ましたがそこではまだ仲良くなる事が出来ませんでした。最初の塾長の講義がはじまり、なんとか何か質問しなくてはならないとドキドキしながら手を挙げました。しかし塾長の返答を聞くと今後の自分のためとなる話でした。ドキドキだったのが質問して良かったという気持ちに変わりました。そこから部屋の移動があったり入浴があったりと仲間との交流が多くありました。ぎこちない会話ばかりしていましたが、その日の夜には部屋のメンバーは全員笑顔で楽しく過ごすことが出来ていました。他の講義でもリーダーのあるべき姿などについて学びました。その時僕が発表したのは「どんなことにも全力で取り組み、あの人なら一緒に頑張りたいと思えるようになりたい」という内容でした。そんなリーダーになっていくために全力で取り組んでいく

姿勢と相手の気持ちを察する力を最初の講義でもあったようにたくさん失敗を重ねながら経験を積みつけていきたいと思います。

白川郷の課題に対する企画提案はまわりの意見を出す凄さに少し押されてしまうところもありました。しかし割り振られた自分の担当の場所の原稿を完成させ、最終日の発表では恥ずかしがることなく堂々とマイクなしで話すことが出来ました。こうして最初は嫌だったこのリーダー養成塾も参加してみると楽しく、今では行って良かったという気持ちでいっぱいです。1日目ではあまり仲良くなれていなかった人たちとも最終日には完全に仲良くなることができ、このリーダー養成塾が終わった後も会いたいと思えるほどです。この3泊4日間とても楽しかったです。貴重な経験をさせていただきありがとうございました。

### 海津市立城南中学校 3年 「リーダーについて知れた3泊4日」

私がぎふ立志リーダー養成塾に参加しようと思ったのは、先生から勧められたことが大きくあります。勧められたときに、私は、リーダーとはなんなのか、リーダーはどのような人がリーダーと言えるのかを知りたく、参加しました。でも、私より頭が良い子が来るという、予想はできていたので、不安と心配が大きくありながらも応募しました。

実際に参加して、私は塾長さんのお話がすごく心に残りました。「失敗=成功」や「努力を積み重ねたものは、人生のどこかで必ず使う時が来るから、体の引き出しに入れ、残すことが大切」という言葉などが心に響きました。正直、まだ自分は高校や将来の夢が定まっていなく、何回も失敗を重ねてる自分だからこそ、恐れてしまうことが多いです。でも、塾長さんの講義のおかげで、失敗は自分を成長させるということが分かり、自分が選ばれるためには、自分にリーダーを任せてよかったと思ってもらえるようにすることが大切だと知り、嬉しかったと同時に、1つの心の支えとなって感謝でいっぱいです。

また、荻町のフィールドワークやモーニングウォークでは実際に見たり、体験したり直に触れ、肌で感じる事ができました。白川村のよいところ、課題を知り、チームの仲間とコミュニケーションをとったり、仲を深めたりすることができました。これらの事を踏まえて、これから私は、リーダーというものを恐れず、挑戦し、最後まで強い意志をもって粘り強く意見を伝えることができるように頑張れるような気がします。今まで恐れてしまって、一步引いてしまった事を、逆に一步踏み出して挑戦すること、意見を出してもだめだと思ってしまう、途中であきらめかけていたことがあったり、やめようかなと思ってしまったりしたことがあったけど、一人で抱え込まず、沢山のリーダーの意見を聞いてみたり、失敗を経験した人に実際に聞いたりして、最後まで、自分の意見をアピールし続けるようにしていきたいと思います。

私はこの先、一人で前に立って、リーダーをするのではなく、他人を巻き込みながら、自分にリーダーをまかせてよかったと思ってもらえるような、リーダーになりたいです。また、失敗を成長につなげ、リーダーというものをつくる土台にしていきたいと考えています。また、ぎふ立志リーダー養成塾で学んだことをたくさんの人に広めることを大切にしていきたい。

私は学校で、後期「生徒会副会長」に立候補しました。しかし、結果はついてこなかったけれど、この経験を糧にし、自分の心の引き出しに入れて、次に挑戦する気持ちを忘れないようにしたいと思います。また塾長に教えて頂いた30万時間の使い方を考え、これからの生活をバラ色のような生活にしていきたい。

ぎふ立志リーダー養成塾で学んだことで、学校や地域の中でどう実践できるかを考えました。それは2つあり、1つ目はクラスの仲間などに失敗を恐れず挑戦する心を知ってもらうことです。2つ目は、自分の市や町のよいところ、課題をPRし、発展させることはできるのではないかと考えています。地域の人など、たくさんの人を巻きこむことで、よい村おこし・町おこしをすることができると考えました。最後にぎふ立志リーダー養成塾では本当

にいい経験をしたので、これらの糧を大切に、これからの人生を生きていきたいと思います。

### 北方町立北学園 9年 「僕がすごした4日間」

僕はこのリーダー養成塾に参加しようと思った理由は、友達と参加できると思っていたからです。ですが、リーダー養成塾で過ごす4日間は自分にとって全くない経験でした。このリーダー養成塾に参加するまでは、自分が目指すリーダー像など考えたこともありませんでした。でも、他の仲間を見て、僕とは全く違うという事がわかりました。

4日間の活動で心に残っている事は、塾長の方の話でした。自分の経験の話や、リーダーの話をしている時に、自分の中のリーダーについての考えがすごく変わりました。印象に残っている事は、Dグループの仲間と、企画提案発表のため白川村の産業の事を調べ、プレゼンをつくって発表したことです。他にもこのリーダー養成塾に参加しなかったら、全くかわりもなかったみんなと友だちになれた事も印象に残っています。

この心に残っている事、印象に残っている事を踏まえて、自分はとても成長したと思います。学校生活でも最高学年の学級委員の仕事を頑張ったり、他にも体育祭の団リーダーを務めたり、学校で唯一このリーダー養成塾に参加したという思いで、いろいろな事をしてきました。自分のリーダーシップが物凄く伸びたと思いました。

僕がこの先どのようなリーダーになっていくのかは、まだわかりませんが、誰にでも優しく接するなど、リーダー養成塾で考えたリーダー像に近づけるように頑張りたいです。学んだことを自分の生き方につなげるために、リーダー養成塾で過ごした4日間を忘れずに、大人になっても思い出せるようにしたいです。中学校で過ごせる期間を大切にして、学んだことを高校生活でも活かせると思うので、活かしていきたいです。僕は部活でバレーボールをやっています。バレーボールはチームスポーツなので、部活でも学んだことを生かされるように考えていきたいです。

リーダー養成塾に参加して、はじめはやっていけるかななどの不安の気持ちや、4日間は長いという気持ちを持っていました。でも、みんなと友達になり、話をしていると、みんな自分の個性を持っていて、面白かったし、自分と同じ共通の趣味を持っている人や、スポーツをしている人との話は楽しかったです。リーダー養成塾のみんなと、大学生とのトランプは楽しかったし、談話室など、一つ一つの活動がすごく楽しかったです。リーダー養成塾で過ごした4日間は、忘れないと思いました。今後僕は色々な事をして、どんどん経験していくと思います。一つ一つの経験に、この養成塾で過ごした事や、経験を活かしていろいろな事をしていきたいです。

### 白川村立白川郷学園 9年 「私のなりたいリーダー」

私は小中学生が共に生活している義務教育学校「白川郷学園」の生徒会長をしています。ずっと同じ環境、仲間と育ってきた私は「他の中学にどんなリーダーがいるのか」「リーダーに向いている人とはどんな人なのか」が分からなく、不安に思っていました。そんな私にとって、その答えを見つけられるチャンスである養成塾に参加したいと思い応募をしました。

初めはワクワクした気持ちもあったけど、ほとんどは緊張と不安でいっぱいでした。そんな気持ちで始まったグループ学習が私にとって一番の成長につながる活動だったと思います。6人のグループでは、活動をしていく中で自然に「それぞれの役割」が生まれてきました。話し合いの進行をする人、積極的に意見を出す人、話し合いの様子を見ながらまとめる人、色々な人がいる中で、自分は何の役割も果たせていない、リーダーには向いていないんじゃないかと不安になりました。自分の意見を言うことも、相手の考えとぶつかることも避けていると、自分はグループの一員であるということすら感じなくなっていました。

そんなモヤモヤを持ったまま始まった講話では、その時の私に必要な考え方を得られました。講話でおっしゃっていたのは「話を進めるからリーダー、まわりを盛り上げているからリーダーではない。話し合いにはどの役割の人も必要で、皆がなりたい立場で、なりたいリーダーになれる」ということでした。その講習が終わってからは、自分がどんなリーダーになりたいのかを考え、自信をもってグループ活動ができました。その結果、仲間と考えがぶつかることもあったけど、それ以上に良いものにできた喜びが大きかったです。

また4日間を通し、自分が見つけたかった答えも見つけることができました。私になりたいリーダーは「自分が引っ張りながら、仲間と共に進んでいくリーダー」です。今回の養成塾で私は、仲間の1人も欠けず、全員で取り組むことの大切さがよく分かりました。だからこそ1人で走って先に進むのではなく、仲間に寄り添い、時にはぶつかり、共に道を探していける、そんなリーダーが私の理想です。今回私の考えを変えてくださったお話のように、私も1人1人を大切に、誰かの不安を除けるような人になりたいと強く感じました。

### 岐阜市立精華中学校 3年 「リーダーとしての成長」

私はぎふ立志リーダー養成塾に参加したことで人として、何よりリーダーとして大きく成長できたと思う。自分の目指すリーダーとはなんだろうと悩み、そしてどうすればそんなリーダーになれるだろうと思った。最初にどんなリーダーになりたい?と聞かれた時私はものすごく悩んだ。学校には、いろんなリーダーがいてみんなすごい。みんなをまとめたり、積極的に物事に取り組んだり、何かすごい得意なものがあったり、けれど私にはそこまで得意なものない。みんなをまとめる力もない。みんなの前で発表するのもそこまで得意じゃない。リーダーなんかに向いてないと思うのかもあった。しかしリーダー養成塾で自分の理想のリーダーを見つけてその理想のリーダーに近づけるように努力すればいいと言われ、私の理想のリーダー像は決まった。『みんなの意見を取り入れてみんなで作る新しいものを作り出せるリーダー』1人1人の意見を大切に、批判するのではなく全ての良いところを詰め込んだ意見が出せるリーダーそれが私の目指すリーダーとなった。

リーダー養成塾では、話し合いの場面が多くあった。話し合いでは積極的に意見を出すのが苦手な人も他の人に賛成したり、周りから様子を見て少し口を出したり、私はもっと積極的にならないと思っていた。しかし、話し合いの中にも役割があるのを知った。みんなの話し合いの中心となる人、周りから冷静に話し合いの内容を聞いてこうしたら?などアドバイスを出す人など。じゃあ話し合いでも、自分ができることから始めていこうと思った。私は人の意見を聞いて良いところを見つけるのが得意だ。だから周りの人の意見を聞いて、みんなの意見の良いところをノートにまとめられるようになりたいと思った。これも理想のリーダーになるために大切なことだと思った。

私はリーダー養成塾で苦手なことも克服することができた。人の前で発表することだ。リーダーは前で話すことが多いのに、私は人の目を見て話すのが苦手だった。人間はみんなジャガイモと思ってみんなの前で話していた。しかしリーダー養成塾で知らない子ばかりの中、どんな仕事してる?とかどんなリーダーになりたい?とかいろんなことを話しているうちに人見知りがなくなった気がした。いろんな子と話して友達になっていくことがとても楽しかった。そしてプレゼン本番、仲間たちと一生懸命考えたプレゼンは私の中で最高に良いものだった。私の班では、みんなの良いところを繋げて行って意見を出した。私はそのプレゼンを絶対成功させるという気持ちでみんなの前にたった。いつもみたいに緊張することはなく、原稿もすらすらよめた。とても楽しい瞬間だった。私は人の前で喋る快感のようなものを感じた。その後の質問にも答えることができた。

その後学校に帰ってからも、積極的に挙手発表が出来るようになって先生にも褒めていただきとても嬉しかった。

私はこのリーダー養成塾でリーダーとして大きく成長できたと思う。

## 可児市立東可児中学校 3年 「リーダーとは」

私がぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由は、生徒会長としてリーダーとはどんな姿であるべきかいつも悩んでいたからです。私は中学校に入ってから、毎日学校に行くのが楽しくなりました。その楽しさを全校に広げていきたいと思い目指した生徒会長でしたが、全校のリーダーとは何か答えは見つかっていませんでした。そんなとき、先生にぎふ立志リーダー養成塾のことを教えていただきました。自分なりの答えが出せるのではないかと思います、参加することを決めました。

私がぎふ立志リーダー養成塾に参加する前に考えていたリーダー像は、みんなのお手本となり、自分が目指す集団になるように引っ張って行ける人です。そして、みんなが過ごしやすく、楽しい環境を目指せる人が、リーダーとなるべきだと思っていました。そして、リーダー養成塾に参加した後もう1度“リーダーとは何か”という問いについて考え、答えを出しました。それは、「答えはない」です。リーダーの形にきまりはない、これが私の答えです。そして、ひとりひとりの答えも違うはずです。

私は、一時期「なぜ私の声かけでは動いてくれないのに、Aさんの声かけは聞くのだろう」と悩んだことがありました。しかし、根本的に間違いがあることに気がきました。言うことを聞いてもらうことがいつしか自分の目的になっていたのです。リーダーとして大切なのは、目標をはっきりさせること、見失わないこと、チーム全体が同じ方向を向いて活動できるようにすることです。目標を達成するためなら、Aさんの声かけを聞くことも正しいはずです。だれがリーダーの役割をしても良い。同じ方向を向くことが大切なのだと思えることができました。

私がぎふリーダー養成塾で学んだことは2つあります。1つ目は、塾長である柳原幸一さんの講義でおっしゃった、「人生のどこかで努力したことを整理整頓して体の引き出しに入れておく」という言葉です。努力することは1つも無駄にならないからたくさん努力して、自分の中に蓄えていくことが大切だと学びました。これからも失敗を恐れず、いろいろなことに挑戦していこうと思います。

2つ目は、「リーダーとは何かという問いに対する答えはない」ということです。リーダーには決まった形はなく、自然とできていくものなのだと思えました。大事なことは、チームとして目的を持ち、向かうべき方向に導いてモチベーションを上げることだと学びました。

今回のぎふ立志リーダー養成塾に参加したことで分かったことは、私と同じように高い志を持っている人が岐阜県の中だけでも大勢いるということです。各校のリーダーばかりが集まると、とても大きなことが達成できました。グループワークでは、私は決してリーダーではありませんでした。皆が同じ方向を向き、全員がエネルギーをもって取り組んでいたからです。味わったことのないことばかりで、どれも新鮮な感覚でした。ぎふ立志リーダー養成塾に参加したことで、多くの講師の方の講義を受け、多くの学びを得ることができました。また、沢山のかけがえのない友人を持つこともできました。これらの経験を学校生活だけでなくこれからの人生に繋げていきたいです。

## 美濃加茂市・富加町中学校組合立双葉中学校 3年 「仲間と自分の成長のために」

私が目指すリーダー像は、「仲間との関わりが深く、チームを正しい方向に導くリーダー」です。しかし、自分がリーダーとして、仲間とどのように関わればチームが一丸となって動くのか分かりませんでした。「チームの目標を果すために、「チームの一員として積極的に行動する力」「チームの中で自分のやるべきことを発見する力」を伸ばしたいと考え、ぎふ立志リーダー養成塾に参加しました。

私が特に印象に残っているのは、岐阜県教育委員会義務教育総括監の青木孝憲先生の講話と、岐阜大学副学長補佐(地域連携担当)、地域協学センター長・教授の益川浩一副塾長の講義です。青木先生の講話で

は、組織の中のひとつひとつの役割についての説明が興味深かったです。どんどん話を推進させる推進役の Mover、Mover が出した意見に補足したり同意したりする従者役の Follower、反対意見や別の提案を出す反対役の Opposer、距離を取って観察して全体を把握する観察役の Observer という4つの役割で組織ができるということと、その中の真のリーダーは、Observer だと教えていただきました。私は今まで真のリーダーは Mover だと思っていたので、チームを仕切り引っ張ることだけがリーダーの本質ではないことに気づかされました。チームで活動するメリットは、一人ではできない大きな仕事ができることや、自分が持っていない能力を仲間に補ってもらえることだと学びました。私は組織で活動するとき、チームに足りない能力や役割を見つけ、お互いに補っていくことが大切だと考えました。益川副塾長の講義では、人間関係・絆の重要性についての説明が印象に残っています。顔の見える距離における、あてにしあてにされる関係が重要であり、共同体験によって生じる「つながり」がコミュニティの良し悪しにまで関わる事を教えていただきました。後のグループワークでは、「つながり」を意識し、協調性をもちながら仲間とやるべきことを実行することができました。こういった共同体験によって「つながり」が深まり仲間と共に目標を達成することで、人間関係・絆の重要性を実感できました。

私の目指すリーダー像は「仲間との関わりが深く、チームを正しい方向に導くリーダー」です。しかし、今までは「自分がリーダーとして、チームの責任者として常に先頭に立っていなければならない」という仲間との「つながり」を深く考えていない思考をしていました。だから、仲間との「つながり」を深める機会を特別に設けていませんでした。しかし、講師の方々のお話や塾の仲間との活動から、良い組織として成り立つには「絆」や「つながり」が大切だと痛感しました。今後の私は、「仲間との『つながり』を大切にし、組織の不足部分を見つけ自ら補い、チームのスキルや団結力を高められるリーダー」を目指していきます。これからの学校生活では、委員長として委員全員の「つながり」を深めていくために、今まで以上に委員会の活動に精を出していきます。具体的には、日常から委員と積極的にコミュニケーションをとり、メンバーに安心感を与えたり、進捗状況を確認したりします。10月の体育祭では自分の委員会の仕事に関わる目標を掲げ、メンバーに動機づけをします。委員一人一人が活躍できる場をつくり、それに向けて共に練習する機会も設け、委員同士の「つながり」を深めていきます。その際は、チームの課題を発見して解決のために動くこともします。また、組織のルールや活動内容を見直すなどして、チームが成長、活動しやすい環境づくりにも励んでいこうと思います。

ぎふ立志リーダー養成塾に参加する前は「将来もリーダーに挑戦していこう」と思いはありませんでした。今はとても強く感じます。今後は自分の将来のリーダー像を描き直し続け、試行錯誤や失敗、成長を重ねていきたいです。

### 関ヶ原町立関ヶ原中学校 3年 「理想のリーダーになるために」

私がぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由はなんとなくのリーダー像をより明確にしたかったからです。私は3年生になり、初めて執行委員となり、全校での集会以外でも、生徒の手本となるように生活したり、協力して活動をするときに、みんなの中心になって指示をすることが今までよりも格段に増えました。しかし、執行委員として、学校の一人のリーダーとして「私は本当にこれでいいのか。全校を引っ張っていているのか。」と考え、その答えを見つけるためにこのプログラムに参加しました。集合場所に行くまでは、わくわく一割、不安9割でしたが、1日が終わるころには友達ができ、わくわくしかありませんでした。2日目からは新しくできた仲間と共にいろいろなことを学びました。その中でも特に心に残っているのは3つあります。

一つ目は柳原幸一塾長の「失敗した後どう自分を高めるか」という言葉です。「はっ」とさせられました。私は人前に立つときや、何かに取り組むとき、絶対に失敗してはダメと思ってしまい、新しいことにチャレンジできなかったり、不安で「もうやりたくない。」と思ったりしてしまいます。ですが、失敗するのがダメなことではなく、次にど

うつなげるかということの大切さに気付きました。

2 つ目は青木孝憲義務教育総括監の「指示だけ出すのではなく、ビジョンを掲げ、メンバーをやる気にさせる」「熱い思いを抱きつつも、冷静に物事を考える」というリーダー像についてです。私が考えるリーダーとは冒頭にも少し書きましたが、メンバーを引っ張っていくものだと想像していたため、「誰かに指示だけ出すことの何がダメなの?」と思っていました。しかし、その後の話で「自分が何の目的をもってその行為をさせられているかわからないと不満を持ち、チームの士気が下がるが、何の目的で行い具体的な内容が分かるとその目的に頑張れる。」と聞き、私自身も「〇〇やって」といわれるより「□□したいから〇〇やって」と言われる方が納得して活動を行えると思いました。それぞれが同じ目標に向かって、それぞれの想いで動ける仲間としての行動が大切だと気付きました。また、一つのことを考えると熱くなりすぎて実現可能が難しい内容になったり、目的とはずれたりしてしまうことがあるので、熱い思いを持つだけでなく、冷静に客観的に物事を見る力も養っていく必要があると気付きました。

3 つ目は益川浩一副塾長の拳手、拍手、握手の 3 つの手を行うということについてです。拳手は主体的、拍手は他者へのリスペクト、握手はつながるという意味があり、リーダーだけでなく、これから未来を担っていく私たち全員に大切なことだと感じました。

私はこの3つを踏まえて、リーダーがチームにしなくてはいけないこと、何かを成し遂げようとしたとき、熱い思いを抱くだけでなく冷静に物事を見て、目的とは違う方に進もうとした時に「ほんとにそれ、目的に合ってる?」と言えるようにしたいです。そしてこれらを有言実行するために、まずは9月にある体育大会の仕事では声かけをし、後輩にも親しんでもらえるように高圧的ではなく笑顔で自分から話に行こうと思います。また、生徒会種目決めでは、自分がどのような願いや思いをもってこれを押しているかしっかり伝え、それだけでなく相手の意見の思いを汲み取って、より良い案になるようあきらめず話し合っていきます。

### 羽島市立中央中学校 3年 「最高の同志と目指す真のリーダー」

私がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加した目的は、同じ志をもったリーダーに出会って、刺激を受けたい、真のリーダー像を見つけたいと思ったからです。そして、自分の意見を自分から発信する力を伸ばし、全体の意見をまとめあげる力を伸ばしたいと思いました。

養成塾の活動では、まず、講師の方に「リーダーとは何か」「どんなリーダーが真のリーダーと呼ばれる姿なのか」を教えていただきました。この話を聞いて、正直今まで日常から行えていたことは一部しかありませんでした。柳原塾長は、「人それぞれのリーダーがあり、主張や思いを大切にしてもいい。失敗=成功だ。」と教えていただきました。私は失敗をおそれて、自分の主張・意見を堂々と言えることが少ないです。ですが、これから、失敗してみよう!一回やってみよう!という前向きな気持ちで過ごし、例えそれが失敗だったとしても、仲間が助けてくれるよ!という言葉の思い出し、過ごしていきたいです。

そして、青木義務教育総括監は「リーダーは偉くて優秀な人ではなく、人の心を気持ちよく動かせる声かけができる人」、「目標を達成するために動ける人」と教えていただきました。学校には、自分から意見を発信するのが難しいと思っている子がいると思います。私は、その子たちに話しかけやすい安心感を生むリーダーになりたいと思いました。

地域への企画提案では、初めて出会う仲間の中で自分の意見を言うことがとても難しい環境でした。でも、お互いがプレゼンを成功させようと意見を活発に言い合って、失敗、間違えることもあったけどそれ以上に、自分がこんなにも意見を言えるんだと思いました。それは周りのリーダーが活発に言い合う姿を見て、「自分も頑張らないと!」と刺激を受けたからです。屋外でのチームビルディングなどグループでの活動を進めるにつれて、

明るい空気感をお互いがつくり合い、個性あふれるグループだったなど今改めて思います。でも、それがプレゼンにもつながったし、「自分の意思表示をしよう!挑戦してみよう!」という思いの成長につながりました。

この先は、この養成塾を卒業した一因として、自分はチームで活動するときには、安心感を生む話しかけやすいリーダー、意見が言いやすい環境をつくれるリーダー、相手のために思って行動ができるリーダーなど、色々な人に、色々なところで認めてもらえるリーダーになっていきたいと思います。

今回は白川村で4日間過ごし、白川村について考えましたが、自分の住む地域にも実は知らなかった課題が見つかるのかもしれないし、改善できることがあるかもしれないので、もっと周りに目を向けて探していきたいと思います。地域以外にも学校にも改善できることが見つかるかもしれないので、学校の仲間と協力して、自分の役割を果たしていきたいと思います。本当に参加できてよかったです。ありがとうございました。

### 岐阜市立東長良中学校 3年 「合宿からできた『理想像』」

私は、この合宿に参加するまで、何に対しても自信を持つことができませんでした。「自分のやっていることは間違っているのではないか」や「自分が言っていることはおかしくないか」、「みんなのようにできているか」と不安や心配になってしまい、みんな(他の人)のしていることが正しいのだと思い、「追いつかなくちゃ」や「自分のしていることは正しくない」と自分の事を追い詰めてしまっていました。そこで私は「自分に自信をつけたい」と思い今回のリーダー養成塾に参加しました。

今回の合宿で学んだことは、ただ人の意見に耳を傾けるだけがリーダーではなく、「これをやりたい・やりたくない」と自分の意見や意思を言える人がリーダーであるという言葉に心が動かされました。また、リーダーの原動力・根本は認められたいという承認欲求からくるという言葉に強く共感し心に残っています。

私がリーダーになった理由は、誰かに認めてもらいたかったからです。誰かに認めてもらうことで自信が持てると思いました。自分のしていることは間違っていなかった、おかしくないんだと思うことができるからです。

今回のリーダー養成塾を通して、自分が成長したと思うことは、グループワークなどの交流で少しでも自分の言いたかったことが言えたので、これは自分にとってとても成長したと思いました。また、仲間と楽しく、時には真剣にグループワークができたので、これも成長だと思えます。

私のリーダー像がはっきりしました。「広い視野を持ち、時と場合で臨機応変ができ、話しやすいリーダー」が私の理想とするリーダーです。

理想に近づくためにまずは「自分から」というのを目標に生活していきたいと思います。

無理をせず、自分のペースで!!

### 恵那市立恵那北中学校 3年 「私のこれからの30万時間」

私はこのリーダー塾に参加してとても成長できたと思います。初めはなんとなく申し込んだだけだったけれど、参加が決定すると「私なんかが行ってもいいのかな」と不安な気持ちでいっぱいになりました。私は今まで具体的な目標、こうなりたい!という目標を持っていませんでした。生徒会長も頑張りたい!とは思っていたけれど、どう頑張ればいいのかわからなく、こうなりたい自分もなかったため頼まれたことをこなすだけ、そんな日が続いていたのでした。なんとなくリーダー塾に申し込んだ私ですが、今では本当に参加できて良かったなどと心から思っています。なぜならこの4日間全てで一生の財産となる経験ができたからです。

リーダー塾初日、大きな不安を抱えて集合場所に行った私でしたが、それはみんな同じでした。話してみれば同じリーダーとして悩んでいることが一緒であるなど気が合う仲間ばかりでとてもとても楽しかったです。でも

自己紹介のときその仲間はみんな理想のリーダー像をもって、私だけがなんとか頭にパッと浮かんだことを言っただけでした。そんなモヤモヤした気持ちの中、塾長の講義が始まり「30万時間の過ごし方」という言葉がでてきました。この話を聞いた時、中学校を卒業してからの30万時間、私はどう過ごすのだろうか。そんな自分の姿が全く想像できませんでした。このまま何も考えずに、何も成長せずに終わるのはイヤだ!そんな焦りを覚えて塾長にこう質問させていただきました。「まだ私はやりたいことが決まっていません。だから何に向かって頑張ればいいかが分かりません。」そう言う私に塾長は「目の前の目標を1つずつクリアしていけばいい。目の前の目標に対して101%の目標を立てればいいよ。」と、そう教えてくださいました。この話を聞いた時、私は「どんな自分になっていたか」という大きな目標のことばかり考えていました。塾長のおっしゃる通りにまずは目の前のある「どんな生徒会長になっていたか」から考えてみることにしました。私は「誰からも信頼されて、誰からも憧れられる生徒会長」になりたいです。そのためにまずはBチームのグループリーダーに立候補しました。

2日目のグループワークではいろいろな問題をグループのメンバーの持っているいろいろな力を合わせて解くということをやりました。ここでは仲間の大切さを学ぶことができました。私は今までみんなに役割を振るより自分がやったほうが良いと思って全て自分でやろうとしてきました。でも仲間に頼れるリーダーの方がきっと頼りやすいです。「メンバーの持つ能力を活かせるリーダー」になるには、仲間の力を最大限まで引き出して、どれだけやる気を起こさせられるかが重要ということに気がつきました。

3日目の益川先生の講義では「グランドルール」を教えてくださいました。このルールの中の「全員が同じ立場として話し合いに参加する」ということを聞いて、学校の話し合いでは自分の意見に自信が持てずに発言ができないし、他の人の意見のほうがいいかな、と流されることがほとんどでした。でもこのリーダー塾での話し合いでは、自分の案をしっかりと提案することができて、リーダー塾に参加する前との変化に気づかされました。また、3日目は個人で練習する時間や原稿を作成する時間などが多かったけれど、わからないところを仲間に聞くなど「わからない」ということを恥ずかしいことと思わず言葉にすることができました。

最終日、いよいよ4日間、頑張ってきた成果を発表する日。私はこの企画提案発表会の総合司会を務めさせていただきました。みんなで考えて練習した企画案を精一杯述べることができました。最後の閉塾式。催事ホールに制服で集まったのは初日と同じでした。でも初日に抱えていた大きな不安はひとかけらもなく、大きな達成感で胸がいっぱいでした。今まで一緒に活動してきた仲間とはグループではなくチームになれたと思います。Bチームのみんなに出会えて本当に良かったです。みんなありがとう!

この最高の4日間で私は「誰からも信頼されて、誰からも頼られる生徒会長」になりたいという目標を見つけることができました。周りにはリーダーしか居ないような環境はこのリーダー塾だけです。相談に乗ってもらったり、同じリーダーならではの悩みを持っている仲間がたくさんいたり、その悩みの解消に向けてのヒントをくれた大学生サポーターの方達がいて、そんな仲間達と生活を共にし、1つのことに向かって協力していくうちに理想のリーダーとは何かが分かった気がします。このリーダー塾に参加できたことに誇りを持って、ここで学んだことを活かしてこれからの30万時間を過ごしていきたいです。そのためにさらに成長した生徒会長になれるように頑張ります。

最後に、ぎふ立志リーダー養成塾を開塾し関わってくださった職員のみなさん、そして学生ボランティアのみなさん、ありがとうございました。ここで出会った仲間は一生忘れられない宝物です!!もし機会があれば次は学生ボランティアとして、リーダー塾に参加する子たちのサポートに携われたらいいなと思っています。本当に素敵な思い出をありがとうございました。

## 北方町立南学園 8年 「4日間の成長」

私がこのリーダー養成塾に参加したのは、新しい仲間や経験ができると思ったからです。私のリーダー像などは考えていませんでした。ですが、塾長をはじめ、様々な方々から講義を受け、私の目指すリーダー像が浮かんできました。

私の学んだことや、心に残っていることは、A(担い手)グループの仲間たちとの意見交流です。初めのうちはみんな中々意見がはっきり言えませんでした。時間を共に過ごすにつれ、はっきりと自分の思っていることを話せるようになり、話し合いに進歩が見られました。時に考える事からずれてしまいそうなこともありました。そんな時は学生スタッフの人達からのアドバイスを受けながら話し合いを進めることができました。

私のこの研修での伸びは、自分の意見や考えに自信を持ち、話し合いに積極的に参加することです。研修前の私は図書委員長で、本をたくさん読んでほしいという思いをもってキャンペーンを行っていますが、生活整備や保健体育委員の行うキャンペーンほど“やらなくてはならないこと”ではないと思ってしまいどうしても強く呼びかけることができなかつたのです。しかし、今は必要性ではなく、私の「〇〇な学校にしたい」という願いを強く持ち、呼びかけることができると思います。

前に述べたように、私の目指すリーダー像は、自分の行いに自信を持ち、周りの人たちの心を動かし、共につきあがっていくことのできるリーダーです。はじめは存在すら認識していなかったリーダー像を考え、研修後には自分なりの答えを見つけることができました。まだ、夏休みで、発揮すること難しいかもしれませんが、私自身、確実に変わりました。

夏休み明け、そしてこれから中途半端な志ではうまくやっていけないでしょう。自分を信じ、強い志をもって生きていこうと思います。

## 郡上市立白鳥中学校 3年 『失敗』を武器にして、自分自身を超える」

僕がこのリーダー養成塾に参加した目的は、大きく2つあります。まず一つ目は、自分自身のリーダーとしての力を高めるためです。学校生活でリーダーとして活動していく中で、うまく意見をまとめられなかったり、自分自身の意見を強く主張してしまうというリーダーとしての課題がたくさんありました。その課題を改善し、新しい強みとなる力にするためには参加するべきではないかと考えたからです。2つ目は、多くの事を学び次の挑戦に活かすためです。このリーダー養成塾の募集チラシを見たときに「地域課題へのアプローチ」以外にも講話などの様々なプログラムがあり、リーダーとして大切なこと、必要なことを学べるのではないかと考えました。さらに、その学んだことが、自分自身の進路選択にも生かすことができると考えたからです。

このリーダー塾で1番心に残っているのは、初日と最終日の仲間の変化です。初日は互いに進んで話しかけたり、プログラムでの意見を出し合いまとめたりということが難しい場面が多く、学生スタッフの方々に頼ってしまうという姿がありましたが、共に活動を通して学んでいく中で徐々に意見を進んで発言する姿だけでなく、1人1人の意見を尊重しながら話し合いを進めようとする姿が増え、学生スタッフの方々に頼らない話し合いができるようになりました。それにより、初日にはなかった姿が多く生まれていたことが心に残っています。

そして、このリーダー養成塾の活動を通して、大きく2つのことを学ぶことができました。まず、1つ目は、柳原塾長の「失敗=成長」という考え方です。この考え方は講話を聞くまで、自分にはありませんでした。しかし、リーダー養成塾に参加して、「失敗」を悪いこととして捉えるのではなく、成長に繋がるものだという考え方を学ぶことができました。2つ目は仲間の意見を尊重することの大切さです。地域課題へのアプローチでの話し合いで、いくら1人1人が意見をもっていても、その意見を尊重しなければ、全員の意見を踏まえた話し合い、案をつくる

ことが難しく、実際にその姿が少なかった初日は、意見がまとまらず、行き詰ってしまう時が多くありました。しかし、徐々に仲間の意見を尊重する姿が増えていくにつれて、意見がまとまり、スムーズな話し合いができるようになりました。このことから、改めて、仲間の意見を尊重することの大切さについて学ぶことができました。そして、このような学びから、今までの「失敗」をそのままにして、成長にうまく繋がれなかった自分を変えて、「失敗」を自分の強みとすることができるようになりました。このことを、何度も挑戦してきた生徒会選挙や自分が目指す「誰よりも進んで行動できるリーダー」というリーダー像の実現や、自分自身の進路選択に生かしたいです。

### 大垣市立赤坂中学校 3年 「私の得たもの」

まず、私が今回のリーダー養成塾に参加した理由は、2つあります。1つ目は、今までリーダーとして頑張ってきた自分へのご褒美だと考えたからです。学級委員や生徒会執行部員としての活動をやっと認められたことをこの参加用紙を頂いて感じました。2つ目は、「本物のリーダーとは何か」という疑問が自分にずっとまとわりついてきたからです。疑問の答えを見つけない一心から応募に至りました。また、自分はどんなリーダーを目指しているのかあまり考えたことがなく、「有言実行でき、熱い意志を持つリーダー」というリーダー像をイメージしていました。しかし、自分は本当にイメージと重なっているか分からない状態だったので、自分が目指すリーダー像に近づいているか、目指すところは本当に合っているか、確認したいという気持ちが大きかったのもあります。そうして参加を決意し、ありがたいことに機会を頂くことができました。

この貴重な期間のうち、特に印象に残っている日は2日目です。2日目を大まかに思い出すと、歩く・聞く・話し合うでした。“歩く”という部分で、白川村を初めて観光しました。初白川郷だったので、見た瞬間嬉しい気持ちでいっぱいでした。その感激は、今でも鮮明に覚えています。観光中、小学生へのインタビューを中心に、自分たちのプレゼンに活かせる情報をたくさん集めました。

その後の“聞く”という部分でも、一般社団法人ホワイエの柴原さんからプレゼンへ大いに役立つ情報をたくさんいただきました。私たちは事前に白川村の課題や課題改善に向かうための企画提案をある程度考えてはいましたが、実際はどんなのかは全く知りませんでした。しかし、この講話の中で現実的な話を聞き、さらに白川村について調べようと試みるきっかけになりました。

最後に“話し合う”という部分で、頭が痛くなるほどに考え、意見をぶつけ合った本当に熱いグループワークでした。本格的にグループ活動が始動し、いよいよ近づく発表会に向けて、どんな企画案がいいかグループのみんなで考えました。正直自分の学校では、意見を言って進める立場でしたが、今回の養成塾では、初めてフォロワーとして、進行していく話し合いに付け足したり、一度立ち止まって最終ゴールはどこなのかを見直したりする立場にまわりました。この立場は私にとっても新しい体験で、とても新鮮でした。

また、自分の学校では、一つや二つほど意見が出て、だいたいどちらかを採用し、活動していきますが、養成塾では、自分と同じレベルまたは自分以上の志をもつ各学校のリーダーが集まっているので、刺激的な話し合いだったという印象がとても強いです。話が止むことがないくらいで、少し大変だったけど、慣れてくると逆に楽しいと感じられるようになりました。その活動を通じて、自己主張が苦手な私でも意見が言える空気感で、とても居心地がよく、意見を考えそれを仲間に伝えるという苦手が克服できたと感じています。意見を言える空気感に加えて、リーダーとして感じる悩みや困りごとを自然に相談したり、共感できたりする場でもありました。自分の学校ではなかなか話せなかったりすることが、他校の子とは話しやすいことに驚き、これからの人間関係に活かしたいと思いました。

そうして、あっという間に過ぎてしまったこの4日間を私の更なる成長に繋げるために今後について考えたいと思います。はじめに、自分の中のリーダー像についてです。参加当初は「有言実行でき、熱い意志をもつリー

ダー」を目指していました。でも、そのリーダー像に近づけたような気がします。そう思えた理由は、私達Aグループを担当してくださった、学生スタッフさんからのお言葉を頂いたからです。「責任をもって取り組んでいる姿勢がリーダー像に重なって、すごく良いと思ったよ」「自分で確立して責任をもって役割を果たす姿がステキでした」二人の言葉に、自信を無くしていた自分が救われたように感じました。周りに気づいてもらえたからこそ、自分がどれだけリーダー像に近づいているか分かって、本当に嬉しかったです。そして、学校や地域の中で具体的にどんな実践ができるかについては難しいかもしれませんが、白川村と同様に課題があり、その改善策が考えられていないかもしれません。しかし、自分が住む地域ですし、やることは何も変わらないと思うので、学んできたことはどんどん使っていきたいです。

最後に、今後の自分の生き方にどう活かしていくかということです。最高の一生物の思い出となったと感じています。思い出だけでは終わらせたくないほどの4日間をどこで活かすか、それは人生の全てにおいて、繋がるのではないかと考えました。現代社会で必要とされる力は特に、コミュニケーション能力だと感じています。私において自信のないこの能力を今回の養成塾で鍛えられたと実感しているので、まずそこで活かすことができます。コミュニケーション能力だけでなく、生きていく上で必要になってくる場面が必ずやってきます。なので、今回の貴重な経験は決して忘れられない、重要な1ページとして自分の中の本に刻まれました。これから先の人生で今回の経験を活かしたり、思い出したりする時が来たのなら、それが参加した本当の意味になるのではないのでしょうか？

### 岐阜市立本荘中学校 3年 「実感することのできた成長」

私は、中学校で委員長をしています。しかし、リーダー性がないのと、中心に立って行動することがあまり得意ではありません。なので、先生にぎふ立志リーダー養成塾の話聞いたときとても興味を持ちました。しかし興味の気持ちと同時に不安もありました。参加して余計に自信を無くさないか、リーダーの人たちと4日間も活動できるのか。たくさん悩みましたが、先生や親に相談していい機会だと思い参加しました。

実際に活動を通して、私は成長を実感しました。大きく心に残っていることは、グループでの活動、そして同じ部屋の仲間との時間、食事の時間です。グループ活動では、暗い雰囲気になったりもしました。しかし、学生スタッフがフォローしてくださったおかげで仲間さによりくなり、お互いに意見が言えるようになりました。同じ部屋の仲間との時間では、リーダーをしていて困っていることをお互いに話したりして、とてもいい時間でした。食事の時間では、最初のほうは緊張していて、話せませんでした。仲良くなるにつれ趣味などについて話し、とても有意義な時間でした。

夏休みが終わり、リーダーとして学校に戻り、成長を実感しています。大きく成長できたことは、2つあります。1つ目は、失敗を恐れずに何事にも挑戦ができるようになりました。私の性格上「失敗したらどうしよう…」などの無駄な心配をしてしまいます。しかし、塾長のお話を聞き、失敗を恐れず、前向きに取り組むことの大切さがわかりました。2つ目は、多くの意見をまとめ、みんなが納得する提案ができるようになりました。この2つのことは学校生活の上でとても生かしています。この養成塾を通していろいろなことが学べ、とてもいい経験だったなと思っています。

これからは、リーダーとして支えていく立場になりたいです。一人一人の意見を大切に提案をして、リーダーを任せてよかったと思ってもらえるように活動していきます。

## 鶯谷中学校 3年 「真のリーダーとは何か」

僕がこのぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由は、自分の求めるリーダー像を見つけるためです。参加する前の自分は、自分が目指すリーダー像が何なのか分からず、ただリーダーをやっているだけでした。でも、そんなことではみんなはついてこない。このまま成果を出さずに終わっていただけになってしまう。そう思いリーダーとしての自分を変えるためにこの研修に参加しました。

ぎふ立志リーダー養成塾に参加して、リーダーシップの重要性や自己成長の可能性を実感する貴重な経験を得ることができました。最初は不安と緊張がありましたが、同じ志を持つ仲間たちと共に学び、切磋琢磨する中で、自分の視野が広がり、自己の課題に向き合うことができました。講師の先生方の話を聞いていく中で、リーダーとは単に人の前に立って、ただ率いるだけでなく、自らが率先して行動し、他者に影響を与え巻き込んでいける人のことを指すということが分かりました。そして自分で課題を見つける力、自分で課題を解決する力、仲間と協力して何か一つのことを完成させることのすばらしさを学ぶことができました。さらにリーダーシップに必要なのは単に技術や知識だけではなく、自己認識や自己管理能力も大切だと分かりました。プログラムを通じて、自分自身の強みや弱みを見極め、それをどのように活かしていくかを考える機会が多く、その都度、自問自答することができました。

白川村の地域課題のプロジェクトでは、一見あまり問題のなさそうな観光という面においてもたくさんの課題があり、村の主要な産業であるのに課題がたくさんあることに驚きました。白川村だけではなく全国の多くの市町村で同様の課題があり、これは日本の課題であるとも感じました。

課題解決に向けてグループで一つの提案を作成しましたが、思っていた以上に大変でした。人それぞれ意見を持っているため、その意見をまとめみんなが納得できる1つの意見を作るには多様な意見や価値観を尊重しながら作業をする必要があります。リーダーシップ力を試されている気がしました。この経験を通して、リーダーには柔軟性と共感性が大切であることを学びました。僕は今まで自分以外の意見を取り入れることがあまりありませんでした。しかし、4日間同じ仲間と顔を突き合わせて議論をしていくうちに、他人の意見を取り入れ、自分の意見をよりよくしていけるようになったと実感しています。また、自分の価値観が少し変わったと思います。全く知らない子たちと4日間過ごすことで、全く違う視野で世界を見ている人もいることがとても新鮮で、あらためて世の中には色々な考えの人がいると気が付くことができました。このような学びを得たことで、自分の中でリーダーシップに対する考え方が大きく変わったと思います。リーダーとは、単に指導・誘導するだけでなく、他者を支え、彼らが最大限の力を発揮できるようにする役割を持つ存在です。そして、それを実現するためには、自己成長を続け、自分自身を高めることが必要不可欠であると強く感じました。

さらにこの研修ではリーダーとして学ぶことのほかに人間関係も大切なものとなりました。今まで他校の同じような志を持つ人との交流がありませんでした。そんな中、このように同志と集まり寝食を共にできたことはとてもいい経験となりました。この場で得た出会いや経験を通して、リーダーとしての自分に少し自信を持つことができたと思います。僕はこのぎふ立志リーダー養成塾を通して、真のリーダーに求められるのは、単純にリーダーシップだけではなく柔軟性や共感性など様々な力が必要になってくるということが分かりました。また、今回参加することで自分自身をより深く理解し、成長するための大きな一歩を踏み出すことができたと思います。この経験を通じて得た知識やスキルを、今後のリーダーシップ活動に活かし、他者に良い影響を与えるリーダーとなることを目指していきたいと思います。そして今後も自分の目指す真のリーダーに向けて、日々学校などでのリーダーとして率先して動き、将来的には世界にも通用するリーダーへと成長していけるよう努力していきたいと思います。

## 関市立旭ヶ丘中学校 3年 「新たな自分になるために」

私が、このぎふ立志リーダー養成塾に参加した理由は、2年生の後期から部長や委員長をやっていくうちに、リーダーとして人をまとめ、的確に指示をすることの大変さを知ったからです。私は委員会などでみんなの前で話すことに苦手意識をもっており、リーダーとしての威厳を出せず、少しみくびられているようなリーダーでした。このままではダメだ、自分が思い描いていたリーダー像“この人なら任せられる安心感・信頼があるリーダー”とは程遠く、他のリーダーとの差を感じ、自信を無くしていました。そんな時にこの話を聞き、目指すリーダー像に近づくためのヒントや考えを改めるために参加を決めました。参加して学んだことは2つあります。1つ目は柳原幸一塾長の講話です。「ここにいる24人全員が全く同じリーダーだったら面白くないからみんな違っていい」という言葉から、私は他のリーダーと違うからダメではなく、私は私とすることができました。また、このことを1日の振り返りに書くと、学生スタッフからこんな言葉をもらいました。「リーダーには様々な形があるべきだけど、全て異なろうとしなくてもいい“まねして・考える” 良い所は取り入れ、プラスαで自分なりに考えることで唯一の最強のリーダーにつながる」と書いてくださいました。この言葉から、「あ!今の私に必要なのはこれだ!」と思い、これから物事を考えるときに重要な考え方を見つけることができました。

2つ目、青木孝憲先生の講話です。青木先生が思うチームで活動していくことのメリットは、「一人でできないような大仕事ができたり、自分のもっていない能力を補い合ったりすること」とおっしゃっていました。この話を聞いて、自分だけでやろうとすると空回りしてしまったり、上手く全体に情報共有ができなかったりして、自分自身がしんどくなってしまいます。人に助けを求めることは“恥”だと思わず、思い切って助けを求めてみようと思いました。この講話を聞き私の目指すリーダー像は“この人なら任せられる安心感・信頼があり、周りに助けを求められるリーダー”へと変わりました。

さらに、私はぎふ立志リーダー養成塾に参加して成長したこともあります。

まずは自分の目指すリーダー像が決まったことです。

今まで、曖昧にしていたあまり深く考えていなかったのですが、このような機会だからこそ色々なことについて改めて考えることができました。自分が躓いていたりした時は初心を思い出して行動していきたいです。次に、塾生の仲間に対して意見がはっきりと言えるようになったことです。

1日目は遠慮をし、あまり話すことができなかつたけど、日にちを重ねていくごとに話しかけられる人も増え、新たな一面も見つけることができ、グループ内の雰囲気もよく活動することができました。

グループ内では、周りの話をよく聞き、自分が思いついたことや何かおかしいと思ったら意見を言い、正しい方へと導く反対者という役割を担い、自分でやるべきことを全うできた4日間だったと思います。小さなことも挑戦してみると意外にできたりして今までやってきた経験が無駄ではなく、ここで活かせたことが私の成長です。

私はぎふ立志リーダー養成塾での4日間を通して目指すリーダー像である“この人ならまかせられるという安心感・信頼があり、周りに助けを求められるリーダー”になりたいと思います。参加してまた自分の新しい一面を見つけることができ、いろいろな意味で新たな自分を見いだすことができました。何か悩んだときは、最初に戻り何がしたかったのかなどを思い出したり、周りの人に聞いたりして解決していきます。

ここで学んだことは、リーダーや日常生活でも活かすことができます。特に、まねして考える事、努力は無駄にならないからいつかのためにがんばっておくなど、今後の生活に活かしていきたいです。学校では、10月まである生徒会の仕事で後悔のないように、挑戦し続けたいです。時が経つにつれて目指す姿は思いや行動によって変化していくため、広い視野や対応できる知識や経験を積み重ねていき次のチャンスへとつなげていきたいです。

### 羽島市立竹鼻中学校 3年 「積極性を持って」

私がリーダー養成塾に参加した理由は、自分が目指すリーダー像の答えを見つけるということもあるけれど、一番は会ったことも話したこともない人たちに、自分から話しかけられるようにしたいと思ったからです。

活動において学んだことは、講義での「リーダーとは、つくるものではなく生まれてくるもの」という言葉から、リーダーはただ偉くて優秀だけでは良くなって、目的を達成するために行動し、結果を出せる人がリーダーに向いているので、改めて自分のすべき事や目標について考えられたことです。

心に残っていることは、プレゼン発表のために実際に白川郷を見て回ったことや、グループで企画提案について話し合ったことです。白川郷を見て回っている時に、日本人観光客だけでなく、外国人観光客にも積極的にインタビューをすることができたことや、インタビューをしている最中に全員が周りに集まったことがグループがまとまっていると感じることができてうれしかったです。グループ内で企画提案について話し合っている時に、初めは自分から意見を出すことが少なかったり、すれ違いが生じて泣いてしまった子がいて、少し不安だったけれど、たくさん交流していったり、大学生のスタッフの方たちと話していく上で、だんだんとチームとしてまとまっていくことができ、最終的には素晴らしいプレゼンをつくれて良かったです。

これらの経験を踏まえて知らない相手でも積極的に話しかけられるようになったことや、どうすれば相手が納得できるかなど、考えて発言できるようになったと実感しています。

成長できたことを活かして、この先、周りを見て行動し、物事は最初に行うことができるような、自分からもっと成長できるようにしていきたいです。そのために、これからの学級での話し合いの時などには、いつもとは異なる視点から意見を出して、視野を広く持てるようにしたいです。したがって、私は、この先みんなを正しい方向へ導き、周りを持ち上げられるようなリーダーになりたいです。とても楽しく良い経験になった 4 日間でした。本当にありがとうございました。

### 岐阜東中学校 3年 「新しい理想のリーダー像」

僕はこのリーダー養成塾を通して得られたことが二つあります。

1つ目は理想のリーダー像についてです。僕がこの養成塾に入ろうと思ったきっかけは友達に、「面白そうだし一緒にいかない？」と誘われたことです。そのため、リーダーとしてこんなことに困っているとこもなく、軽い気持ちで参加しました。ですが、こんな気持ちで参加した僕も「こんなリーダーになりたいな」というものはありました。それは「指示するのではなく、自分から動けるリーダー」です。指示だけされても聞きたくないと思うので、行動で示せる人になりたいと思ったからです。でも、この養成塾でその考えは正しいけど足りないなと思いました。そう思ったきっかけは、柳原塾長の講義を聞いたことです。僕はこの話を聞いて感じたのは、失敗を恐れなくて挑戦することが大事ということです。この話を聞いて、僕は逃げていたんだなと思いました。行動で示すといっても、いつも自分と何人かで終わらせてしまっていたりして、皆に呼びかけようとしなかったなと思ったからです。本当にやるべきなのは自分が行動しつつ、皆を巻き込んでいけることだなと感じました。

2つ目は企画提案についてです。今まで社会科などで少し取り上げたり、ニュースで見たりするだけだった人口減少などの問題に実際に調べて対策を考えることが初めてで、思っていたより複雑で大変だなと感じました。僕は初め、人にどうやって移住してもらうかが大事だと思っていました。ですが、白川村のことを調べていくうちに、実際の問題は家不足と、村外への流出でした。このように深く調べることで真の課題が見えてくるのが分かり、常に本当の課題は何か日頃から考えることが大事だなと思いました。また、グループワークでは、みんなの意見を一番尊重しつつ、よくなる方法を探すのが難しく、助けられてばかりでしたが、協力して企画提案発表

ができてよかったです。

これらの2つから、僕が目指すリーダー像は、「自分から動き、皆を巻き込んで行動できるリーダー」で、ミスなどをできてしまっていたときにはなぜそうだったか、本当の課題は何かを常に考えられる人になります。そして、日々失敗を恐れず、行動できる人になります。

### 養老町立高田中学校 3年 「何かをさがして」

私は中学校で生徒会長をやっています。でもそれは自分が強く「やりたい!」と願ったからではなく、担任の先生や友人、親から「やってみなよ。経験して損はないよ」というように言われたからです。そして今回のぎふ立志リーダー養成塾も同様でした。いつもなら勧められたらそのまま頑張るのですが、今回は自分の中で心理的葛藤がありました。中3の夏は高校受験勉強の夏であり、自分として「受験勉強して苦手を克服したい」という思いが強くありました。だから養成塾が決まっても、前日まで参加しようかずっと悩んでいました。そうしているうちに白川村へ着きました。私はここで何をしたいのか分からずに講義を受けました。初めに、「皆さんの思うリーダーとは何ですか」と聞かれました。私は「命令して率いるボスではなく、仲間と同じように働き、率いるのがリーダー」というように考えていました。これは中学の先生が言っていた言葉です。しかし、ある学生スタッフの方が言っていました。「リーダーとは、植木鉢のような存在だ。仲間を育てるのではなく、仲間を包み見守る存在だ」と。私はこの時からリーダーとは何か具体的に考えていきました。今思えば、この学生スタッフの方の言葉が私を気づかせてくれる「鍵」だったのかもしれない。

1日目、2日目は何事もなく、ただただ平穏過ぎていきました。しかし、3日目になって私達に問題が起こりました。企画提案をグループ全員で考えていた午前中、ある1人が泣き出したのです。私たちは理由が分からないまま昼食を食べました。美味しい昼食でしたが、食べた感じがしませんでした。この2日間、笑顔で食べていた食事の時間で、初めて笑顔になれませんでした。そして午後、グループ全員が集まって学生スタッフの方に言われました。「みんな、自分の意見を通してない?自分の考えが他人の考えと一緒に思い込んでない?自分の意見を言えないまま進んでいくのはどうなの?」と。私はこの時思いました。グループ全員で行っていた話し合いは、実はグループ全員ではなかったことを。そこから、話し合い話し合いの雰囲気が変わりました。何とも言えない重々しい空気が何でも包み込んでくれる温かい空気に。自分でも何が変わったのか分からないけれど、何かが変わったことは分かりました。このことからリーダーとは自分の意見や考えたことを言い、みんなを引っ張る存在ではなく、みんなの意見を等しく尊重し、より良い意見へと導く、包容力のある存在なのだ学ぶことができました。それからの私は、自分の意見こそが正しいと押し通すのではなく、第3者視点のように視野を広く、見守る、包容力を身に付けることができました。

私をはじめ、「何か」を得るために参加したと言いましたが、その「何か」とは、真のリーダーとしての包容力だと思っています。そして、植木鉢の意味に気づきました。では、この力は、いつ生きてくるのか。それは人生全てです。学生の時、これからも仲間同士の意見の対立があるでしょう。そういう時に、衝突にのめり込み過ぎて、視野が狭くなるとは意味がありません。常に視野を広く持っていれば、今自分がやるべきことが分かります。社会に出た時に、上司や後輩が、自分に何を求めているのか分からない時があるとします。その時は、包容力=すべてを見れる力=異なる視点から考える力により、相手との関わりが深くなります。参加する前の不安な気持ちは、今、確かな自信に変わっています。私は、この養成塾で経験した全てを使って、これから真のリーダーとして活躍しています。

## 垂井町立垂井北中学校 3年 「成長できた4日間」

まず、このリーダー養成塾に参加した理由は、親にプリントを見せたところ、父と母に「行ってみたら?きっと良い経験になるよ!」と、強く勧められたからです。そして、行くからには自分が目指す「みんなのために進んで動き、周りを気に掛けるリーダー」に近づくためにリーダー養成塾での活動を通して、共感力やコミュニケーション能力などの力を伸ばしたいという目的をもってこの塾に参加しました。4日間の色々な活動を通して学んだことはたくさんあります。

まず1つ目は、1日目、白川郷に着いてすぐの柳原幸一塾長による塾長講義です。この講義では、死ぬまでの残り時間の大切さや、リーダーであることの原動力とは何か、失敗することを恐れずに挑戦してみることが大切だということ、など心に残るお話がたくさんありました。このお話を通して、自分が今まで考えていたことは少し間違っていて、リーダーとはつくるものではなく、自然とできていくものだと知りました。そしてそれぞれの思いや、気持ち、行動などによって全員が違うリーダーになれる。自分がなりたいリーダーになるためには、常時現時点の10%くらいの小さい目標を立てて達成する、これを繰り返していくことでモチベーションを上げることができ、自分の目指すリーダー像に向かって真っすぐ頑張りが続けられると教えていただきました。この教えをこれらの生活に取り入れ、役立てていきたいと思います。

2つ目は6回ほどのグループワークを通して感じたコミュニケーションの大切さです。最初のバスではみんな緊張していて話しかけようと思っても話しかけられない自分がありました。でも、チームビルディングやグループワークをとおして、ここにいるみんなは自分と考えていることが似ているということに気づき、少しずつ仲良くなりました。最終日は地域課題への企画提案発表があり、同じグループのみんなと頑張ってきたことをしっかりと発揮することができてよかったです。そして改めてコミュニケーションをとることの大切さを知り、これからはなるべく自分から相手に話しかけようと思います。

これらの学んだことを踏まえて、今は周りに任せっきりせず、自分から進んで行動する力が付いたと実感しています。これを学校でも活かし「みんなのために進んで動き、周りを気に掛けることができるリーダー」を目指しています。

リーダー養成塾に行く前は、とても不安だったけど、終えた今は行って良かったと心から思います。面白い仲間達、美しい自然、美味しいごはん、この4日間、長いようで短い、とても楽しくて幸せな時間でした。本当にありがとうございました。ここで学んだことは、これからの人生のどこかできっと役に立つと思います。ぎふ立志リーダー養成塾に参加した一員として立派なリーダーとなります。

## ～保護者の感想より～

○養成塾に参加させていただきありがとうございました。バスに乗るまでは不安の方が強そうでした。3泊4日の中、途中地震があり少し不安でしたが、無事帰宅できたこと、また、満面の笑みで帰宅できた事で、とても充実したことが伝わってきました。とても楽しかったようで次々と知らない名前の子がでてきて、楽しかったんだと思いました。とてもよい経験をさせて頂いたので、この経験を生かして進んでいってほしいなと思いました。

本当にありがとうございました。

○今までのリーダーとは？の考えが変わったと話してくれました。今までは割と1人タイプだったけれど、この塾に参加して、コミュニケーションの向上、リーダー像の変化によって、今後の活動の原動力になってくれると思います。自分の意見も積極的に発言し、考え・学ぶ力が付いたと思います。なにより帰宅してから生き生きとしています。参加させてよかったです。

○いろんな学校から普段出会うことのない人々と出会って学ぶことがあったみたいなのでいい経験でした。リーダーシップが伸びたと感じてよかったです。

○初対面の方達と共に3泊4日、共同生活をしながら現在の身近な社会問題に真剣に取り組むことで、さらに様々な社会問題に目を向けるきっかけになったのではないかと考えています。

特に白川村の結について学び、技術を受け継ぐ難しさを知ることは、とても貴重な経験であり、心に深く残っていると思います。

今回、志の高い方達と共に学び合う中で、リーダーとして必要なこと、自分に足りない所など、改めて気づくことができ、たくさんの成長のきっかけを作ってくくださったことに心から感謝しています。

○とても楽しんで4日間を過ごせたようです。中学校のせまい世界しか知らなかった子が、岐阜県の中学校のリーダーたちと出会い、世界が広がったように思います。いつもは自分がリーダーとなって周りを導いていかなければいけない、間違いを正さないといけないと頑張っているように見えていましたが、リーダー養成塾では周りも自ら動いてくれる子たちばかりで、充実した時間を過ごせたのだと思います。帰ってきた子供の言葉で印象的だったのは、「お母さん、私リーダー養成塾ではリーダーじゃなかった！」でした。大きな気づきがたくさんあったんだなと感じました。ありがとうございました。

○3泊4日も1人で外泊した事もなく初めての体験で知らない方々の中出発する前はかなり不安がっていたのを覚えています。しかしお迎えの際の彼女を見て楽しかったのが直ぐに分かりました。とても笑顔で課題に取り組んだ内容や施設やお友だちが出来た話など嬉しそうに話す姿を見て、参加出来た事がとても良かった！と感じました。初めての体験や人とのコミュニケーションの取り方など学んだ事は数多くあるかと思っています。ケガなく過ごし無事に帰宅出来た事関わって下さった方々に感謝しかありません。ありがとうございました。

○お友だちと何日か一緒に過ごす事によって色々なことを、学べたと思います。夏休み明けの学校生活でもそれは生かされているようです。

今まであまり自信がなかったみんなの前で発言する事が養成塾に参加してからは自信に変わったようでいつも話をしてくれます。自分を成長させる養成塾に参加できたことはとてもよかったと話を聞いたり見ていると思いました。ありがとうございました。

○活き活きとした頼もしい顔つきで帰ってきました。帰って来てから話が止まらず、とても実りのある4日間だったことが伺えました。

普段の学校生活や地域活動などでは経験することのできない質の高い講義や志の高い仲間たちとの出会いがあったからだと思います。

参加させていただくことができ、本当に良かったと思っています。貴重な機会をいただき、感謝しています。

○学校で1人ということでもとても心配でしたが、この3泊4日の塾を終えて、息子がたくましくなってもどってきたようで、とても嬉しく、本当に参加させていただき、よかったと思っています。この経験は、息子にとって、宝物になったと思っています。ありがとうございました。

○帰ってきて、第一声は「本当に楽しかった！」でした。友達もできたようで、貴重で素晴らしい体験をさせていただいたと思います。今回の経験をいかして、今後の学校生活を自らの手でよりよくして楽しさを感じて過ごしていってくれたらうれしいです。

○受験生にとっての夏休み、勉強に励みたいとは思いましたが、長い人生を考えたときに、4日間受験勉強をするより養成塾に参加する事の方が有意義ではないかと考えます。結果どうだったかは、まだ分かりませんが学ぶべきことは沢山あったかと思います。本人が感じたこと、考えたことを生かせるのは今後の本人次第で大きく変わることには違いないので、親として時折、今回の事を話題にしてチャンスを生かせたらと思います。貴重な体験を、ありがとうございました。

○参加前までは、ちゃんとやれるかと不安のまま出発していく感じていましたが、4日間を終えて、参加して本当に良かったと笑顔で帰宅しました。いろいろな仲間達とたくさんのことを共有したり、意見しあったり、取り組みの中ですごく刺激をもらえたようでした。お話を伺った方やボランティアの先輩たちとの話の中からも多くのことを学び吸収できたことを話してくれました。将来ボランティアとしてまたここに参加することも今後の目標の一つみたいです。参加後の生活においても成長が見られ、貴重な経験を得る機会を頂いたことに心から感謝しています。ありがとうございました。

○小規模校の中で固定された人間関係から一歩踏み出して、様々な学校で活躍しているリーダー達との交流で、視野を広げることができたのではないかと思います。リーダーとは・・・の迷い、自信のなさや向き合い、自分なりのリーダー像を描くことができたのは大きな成長であると思いますし、これから高校、社会に出ていく中で、大きなプラスの財産を築けたのではと感じています。子どもの成

長を見守り、支援して下さった関係者の皆様に感謝しております。ありがとうございました。

○本プログラムへは、本人の強い希望で応募させていただきましたが、自ら参加してみたいという意思と、新しい環境に飛び込む勇氣には感心したところです。帰宅後は、塾での様子や学んだことなど写真を交えて楽しそうに話してくれました。リーダーを目指す他市町の様々な生徒たちと関わることは、本人にとって大きな経験になったと思いますし、自信に繋がったと思います。この経験が、自分の将来について考えるきっかけになることを期待しています。この度はこのような貴重な機会を与えてくださりありがとうございました。

○中学校で前期生活委員長となり、どうしたら他の委員の生徒たちと委員会を盛り上げていけるか、委員長としての役割や在り方について悩んでいたようなので、今回のリーダー塾は、出発前からとても楽しみにしていました。帰宅してから、他校の生徒達からたくさん刺激を受けた事、講師の方々からの講話、白川郷の過ごしやすさやスタッフの方々のサポートなど、とても興奮して話してくれました。今回このような機会に恵まれた事、お世話になった方々への感謝の気持ちを忘れず、塾で学んだことを今後の人生に活かして行ってほしいと思います。

○4日間お世話になりました。とにかく楽しんで帰って来たので何よりです。どんな人たちと出会えるのか、ワクワクと少しの不安の中出発した朝から、ほんの4日間しかたっていないのに、新しい仲間との出会い、非日常の体験を通して新しい価値観や世界観、宝物をたくさん見つけてこれたようです。本当にありがとうございます。多感な年ごろに貴重な経験をさせて頂きました。

○塾に参加させるまでは他の学校の子と仲良く生活できるだろうか？仲間と楽しい時間を過ごせるだろうか？と心配をしていましたが、帰って来た娘を見たら、とても楽しそうに、仲間の事、養成塾を卒業された方の話をたくさん話してくれました。「また参加できるなら参加したい！」とも話しており、とても有意義な時間だったと、参加させて良かったと心から思いました。他の学校の方や卒業された方、ぎふ立志リーダー養成塾の方には、この夏、娘に素敵な体験をさせて頂き感謝をしております。本当にありがとうございました。これからも学生のために続けていきたいと思っています。

○学園化の影響で9年間変わらない環境になった娘に新しい出会いや経験で広い視野を持つチャンスと思い、私の勧めで参加を決めたものの、事前課題を見て怖気づき、「私にはできない」と前日まで少しもめました。

しかし、帰りのバスから降りてきた娘の表情はとても明るく、充実した4日間だったことがすぐに分かり、ほっとしました。彼女の感想文にある通り、参加したみんなやボランティアの先輩方、講師の方々との関わりの中でリーダー像や思いを伝えること、1つの課題にみんなで向き合う事、多くの学びがあったと思います。

この学びをこれからの学校生活や、未来につなげていってくれるとよいなと思います。貴重な経験をさせて頂き、ありがとうございました。

○今回はご縁があり、このような素晴らしい機会を娘に与えて下さいましたことに深い感謝を申し上

げます。娘は志を持ち参加の応募をしておりました。出発が近づくと知らないお友達、大人の方も知らない方ばかりという事が不安な様子に見てとれました。ただ、帰ってからは不安に思っていなかったかのように、目をキラキラさせ、体験したことをたくさん話してくれました。他校の生徒方とは初めて会ったと思えないくらい仲良く楽しく関わられたようです。与えられた課題について深く話し合い、実際に合掌造りを訪れ、また講話など色々なことを見聞きし、体験して、一つ成長した顔つきの娘を見ると、本人には実りの多い「ぎふ立志リーダー養成塾」だったように思います。本当にありがとうございました。

○自分で選んだことに応援するだけですが、いつも前向きにどんなこともチャレンジしている子なので、自信と安心をもって参加させることができました。課題を持って参加し、いろいろな経験ができた事、同じ目的を持った仲間との時間は、将来、社会人になったときにも生かされる内容だったのでと思います。人生で一番集中した時を過ごしたと言っていました。ありがとうございました。

○3泊4日という長い期間親元を離れ、リーダー養成塾に参加させていただきました。学校では生徒会や学級委員など積極的に取り組んできて、それ以上にこの塾でたくさんの事を学べてとても楽しかったようで、親としてははすごくうれしかったですし、今後、大人になり社会に出た時少しでもその力を発揮できるよう期待したいと思います。

○参加する前は不安と緊張で大丈夫かな？と思いましたが、帰って来た後はとても生き生きとして笑顔に満ち溢れていました。人の前に立つことの大変さを共有し合えた事が何より嬉しかったのと、あらためて、リーダーとして、またリーダーとしてではなく、仲間と何かを創り上げることの楽しさや姿勢、互いを思い、前に進める力を実感できたのではないかと思います。他校の生徒と交流できる素晴らしい活動に参加させていただき、本当によかったと思います。今後学校生活や、色々な場面や活動で、この経験を生かしてほしいと願っています。ありがとうございました。

○2年生の夏から参加したいとずっと言っていたので、今回参加させていただいて本人は大満足そうです。内弁慶で外ではモジモジしていますが、他学校の人達とも自分から声を掛けて仲良くなり、班行動もしっかりできたようでよかったです。今回の体験で感じた事、身につけられたことをこれからはぜひ生かしてもらいたいと思っております。ありがとうございました。

## ～学生スタッフの感想～

### かけがえのない4日間

今回、5年ぶりに学生スタッフとしてこのぎふ立志リーダー養成塾に参加させていただきました。まず集合場所で初めての仲間に緊張している様子の中学生を見たとき、まるで5年前の自分たちを見ているようで懐かしさを感じました。また、白川村に近づくにつれてバスの中で積極的に隣の子に話しかける姿なども見られ中学生の子たちの積極性に感心させられました。また初日の柳原塾長の講話のときも質疑応答で積極的に挙手をする姿であったり、チームビルディングでの初めてのチームでの活動で楽しみながらも一生懸命全員で作戦を考えていたりする姿を見てこの子達の強さを実感しました。

2日目からは「地域課題への企画提案」が本格的に始まりました。白川郷での聞き取り調査ではスタッフがサポートすることなく地元の方、さらには外国から観光に来ていた方に積極的に質問していて驚かされました。特に初日は大人しめだった子も進んで話している様子を見て成長を感じられて嬉しく思いました。

3日目はグループ内での企画提案に関する話し合いがメインでした。話し合いが進んでいくにつれて話し合いの内容がゴールからずれていたり、行き詰まったりことも多くありました。そこでグループのリーダーが臨機応変に動き、それに対して周りのメンバーもそれに応えるように発言や動があったのがすごくいいなと思いました。またリハーサルで発表の時間が余ってしまいそうな時も自分たちでどんどん新しい案であったり元々の案を肉付けをしたりして4日目には素晴らしい発表をした姿を見てこの4日間の生活や感じたこと、学んだことが彼らにとってすごく貴重でかけがえのないものになってくれればいいなと思いました。この塾が始まる前はちゃんというアドバイスやヒントを生徒たちに与えられるか不安でしたがその不安を忘れさせるような中学生の活躍はとても頼もしいものがありました。

さて、参加した中学生のみなさんはこの塾に参加してよかったと思ってくれたでしょうか。参加して自分の成長を感じられたでしょうか。各学校のリーダーが集まりいろいろなプログラムを行うことで普段の学校生活で得ることのできる以上のものを得ることができたのではないかと思います。またこの塾で学んだことをこれからの人生にどんどん活用してほしいと思います。またどこかでリーダーとして活躍している姿を見るのを楽しみに応援していきます。4日間お疲れ様でした。

### 学生スタッフとしての4日間

3泊4日という期間を学生スタッフという中学生のときとは違った立場で参加させていただきました。非常に貴重で価値のある時間を過ごさせていただきました。

私が中学生のとき塾生としてこの活動に参加して学生スタッフのアドバイスにとっても助けられたことを今でも覚えています。今回学生スタッフとして参加するなかで塾生の皆さんに少しでもいい経験になるようにアドバイスをできたらと思っていました。活動が始まってすぐの頃は、中

学生の塾生はお互い初対面でぎこちない雰囲気でしたが、1日目の夜には打ち解け合っていて、最終日にはしゃべり声が絶えないほどになっていました。同じ目標に向かってコミュニケーションをとり、意見を出し合う、議論する姿をみて、さすが各中学校で生徒会などの責任の伴う役割を担っている人たちだなと思いました。

学生スタッフは塾生の活動中に具体的なアドバイスは出せなかったので少し不安もありました。しかし、私が担当したグループの人たちは、ほとんど自分たちの力のみで企画提案の発表を完成させ、行き詰まったときもグループ内で話し合っ解決策を出していました。私個人としては、行き詰まって私たち学生スタッフがアドバイスを出す機会がもう少しほしかったなと思うほどです。このようにグループ内での話し合いやプレゼン作成がスムーズにいったのは、役割分担がきちんとできていたからだと思います。指示を出す人、意見をまとめる人、意見を客観的にみて疑問を提起する人などうまく役割分担をすることで少ない時間で自分たちのテーマを深く考えられていたと思います。

ぎふ立志リーダー養成塾に塾生と学生スタッフの合計2回参加させていただいて特に物事を客観的にみることの大切さを感じました。自分たちが考えていたものが最善であると思っても客観的な視点から見れば全然違うこともあれば、視野が狭くなって間違った方向に進んでしまうこともある。今回の塾生の皆さんの活動の様子をみて自分が中学生のときは物事を主観的にしかみておらず、もっと客観的に物事をみるべきだったなと思っています。

この4日間は非常に内容の濃い学びのある期間となりました。中学生の皆さんの思い出に残り、今後の活動に活かされるような経験になると同時に私も多くのことを学ばせていただきました。

この活動に参加させていただきありがとうございました。

## 学生スタッフとして参加して

今回学生スタッフとしてぎふ立志リーダー養成塾に参加させていただき、自分が塾生として参加した時には得られなかった新たな発見が得られた貴重な4日間を過ごすことができました。

各々がリーダーとして活躍する塾生には、それぞれの目指すリーダー像、志があり、それは一概に「良いリーダー」と同じ括りでまとめられるものではなく、「良いリーダー」の中でも、ひとりひとり個性のあるものでした。個人とコミュニケーションをとり、話し合いをする様子を見ていく中で、その「個性」がぶつかってしまいそうになる場面もないとは言えなかったと思います。しかし時間が経てば、互いの意見を認め合い、そして成長していく姿が見られました。人が成長していく瞬間瞬間を見られたことが、私にとっての宝物です。同じ志を持ち、同じ熱量を持ち、けれども違う価値観を持つ、そんな素晴らしい仲間たちに出会えたこのぎふ立志リーダー養成塾は、本当にかげがえのない経験になったと思います。塾生のみなさんが、そんなかけがえのない経験をした瞬間に私も立ち会えたこと、嬉しい気持ちでいっぱいです。

このリーダー養成塾で得た経験は、この先の人生、高校、大学、社会に出ても必ず役に立ちます。私もこのリーダー養成塾に参加するにあたり、自分が中学生時代に持っていた志を改めて振り返りました。あの時目指していた人物像に、今、近づけているのか。そうであるところもあれば、そうでないところもありました。もちろん、中学生時代に描いていたものが全てな訳ではな

く、月日を重ね変化していくものも多くあります。しかし、今の自分を見つめ直した時、この養成塾に参加したことが糧となっていると感じることが確かにありました。そのような経験を、養成塾を終えたこれからの塾生のみなさんにもしてもらいたいです。塾生のみなさんの中には、来年から高校生、新たな世界へ踏み出そうとしている人が多くいます。初めての新しいステージに行くことには、もちろん不安はつきものです。ただ、今回得られた全て、経験や仲間の存在が、これから自分の背中を押してくれると思います。私も来年から晴れて社会人となりますが、塾生のみなさんと同じく新たな世界へ踏み出そうとしてる一人として、このリーダー養成塾の経験が、私の背中を押してくれると信じています。

塾生のみなさんの成長を見ることができた最高の経験になったと同時に、自分自身も新たな発見を得られました。この最高の経験をさせてもらった塾生のみなさんに感謝するとともに、塾生のみなさんの更なる活躍を願っています。

### 笑顔が咲いて羽ばたけ

この度は貴重な時間と経験をさせていただきありがとうございました。中学の頃に参加した時とは、異なる立場から参加をし、自身の成長を感じるとともにまだまだだと感じることも多くあり、大変有意義な時間となりました。

さて、皆さんが理想としていたリーダー像は養成塾に参加したことを経て変化したでしょう。また、普段の学校生活では学びを多く経験できたと思います。最初は、中学生との関わり方が分からず、皆の不安が私にも伝わり不安になることもありましたが、時間が経つにつれグループワーク以外の時間にも積極的に活動に取り組む姿や雑談を楽しむ姿があり、流石だなと感心していました。養成塾で学んだことを大切にこれからもリーダーとして、そして一人の人間として成長してください。皆さんの可能性は自分自身が思っているよりも無限大だと思います。これから楽しい事も辛いことも逃げなくなる事もあるでしょう。頑張り屋さんの皆さんは、考えすぎたり思い詰めたりして、心に余裕がなくなる時があるかもしれません。そんな時は一歩下がってみてください。一歩下がることは逃げではないし、何歩も下がっても逃げじゃないです。下がることは逃げではなく、もっと前に進むための助走です。下がることで、今まで気づかなかったことが見え、次のステップへと繋がります。何より、養成塾で過ごした経験はきっと心のどこかで糧になるはずですよ。

私が大切にしている言葉に「恩送り」があります。これは、高校生を対象とする日本の次世代リーダー養成塾でお世話になった担任の先生のお言葉です。恩返しは、恩をくれた人に恩を返すことを言います。一方で、恩送りは、恩をくれた人ではなく別の人に渡すことを言います。今回の養成塾ではご講演くださった方々、トヨタ白川郷自然学校の方、白川郷学園の児童・先生方、岐阜県のどこかの中学校でリーダーとして活躍する仲間、そして岐阜県私学振興・青少年課の方など沢山の方に大変お世話になったことでしょう。感謝の気持ちを恩返して伝えるだけではなく、自分がこれから出会う次の世代へ、新しい場面で恩送りとして行動して行ってください。皆さんの行動や支えが、次の誰かの助けとなり、誰かにとっての大きな力になると思います。皆さんの今後のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。またどこかで、会えることを楽しみにしています。

## 自分と向き合う機会をくれた貴重な4日間

この4日間は私にとって忘れられない素晴らしいものになりました。全てが非日常なことばかりで周りからいい刺激をたくさんもらえました。それは自発的に行動する頼もしい姿を見せてくれた塾生のみんな、講話で凄く分かりやすくなる話をしてくださった講師の方々、運営をくださった方々、学生スタッフのみんななど本当にたくさんの人たちのおかげです。

今回の養成塾を振り返ると同時に中学2年の頃、私も同じようにこのぎふ立志リーダー養成塾に参加したことを思い出しました。きっかけは意思があったわけではなく友人から誘われて応募したものでした。リーダーとしての周りへの示し方に難しさを感じていたので快諾しました。しかし、いざ参加する前日になると軽い気持ちで応募したことを後悔したことをおぼえています。それでも同じ中学生のリーダーが集まるということに高揚感もありました。昔の自分と塾生の子とを重ねることもありましたが、日を重ねるごとに頼もしさや、積極性が見えて非常に喜びを感じました。塾生同士のディスカッションやグループワークでは、異なる視点や意見が交わされることで、リーダーシップの本質について深く考える機会がありました。学生スタッフとして、彼らの意見を引き出し、より良い議論ができるようにサポートすることは、私にとっても大きな挑戦でした。サポートさせてもらう中で毎日の振り返りで自分の成長や仲間への信頼、その日ためになった言葉を自分なりに解釈する姿など自分の心の内を明かしてくれる塾生のみんなは本当に人として尊敬すべきだと感服しました。サポーターとしての役割を通じて、私は塾生たちの成長を間近で見ることができました。彼らが自信を持って発言する姿や、困難な課題に取り組む姿勢は、私にとっても大きな励みとなり感動しました。数年後、数十年後の彼らが凄く楽しみであると同時に私自身もっと尊敬される人徳と行動力をつけたいと心から思いました。今後も素晴らしい未来のリーダーを育むぎふ立志リーダー養成塾が存続していくことをお祈りして、これからの皆さんのご活躍を期待しています。

## みなさんへ

おひさしぶりです。みなさんお元気ですか。この度はぎふ立志リーダー養成塾に学生スタッフとして参加させていただき、非常に価値のある時間を過ごさせていただきました。ありがとうございました。

4日間でぐんぐんと成長するみなさんの姿にとっても刺激を受けました。その成長を見るたびに心から嬉しくて、学生スタッフとして参加して良かったなと思いました。

みなさんとの白川村散策もすごく楽しかったです。看板の小さなQRコードに着目する姿、外国人観光客のお土産に着目する姿、観光客にインタビューする姿など、みなさんの着眼点の鋭さや、自分から行動する姿にとっても刺激を受けました。みんなで川辺で食べた水プリン、美味しかったですね。大切な思い出です。

リーダーとして活躍する人たちが集まって何かをする中で、たくさんの学びや刺激があったと思います。ですが、いつもとは違う難しさも感じていたのではないのでしょうか。私が担当したグループのみなさんもその壁にぶつかりましたね。でもちょっとしたアドバイスで行き詰まった空

気感の話し合いから、みんなで意見を出し合い認め合う話し合いに変わったのを感じて、とても嬉しかったです。意見を言えること、聞けること、反対の意見を言えること、グッと抑えられること全部一人一人違った良さです。それが時には短所になるかもしれませんが、それは全部長所です。そう感じた時には、"このグループの中で自分の良さをどう活かすか"と考えてみて欲しいです。同時に仲間の良さも見つけてみて欲しいです。これから何度もリーダーをする中で行き詰まることもあると思います。そんな時は、このプログラムで出会った仲間の良さを取り入れてみてください。さらに素敵なリーダーになれると思います。それに気づけたからこそ、後半の話し合いがより有意義なものになったのではないのでしょうか。

5年前の自分と向き合えました。こんなことを言っておきながらも中学生の私は責任感が強すぎるあまり、一人で全部やろうとして周りが見れていませんでした。しかしこの塾で出会えた仲間から周りの人を頼れば良いということを知りました。そして様々な経験をし大学生になった今、周りの人に支えられながら明るく楽しく生きています。あの時の私が今の自分を作ってくれました。様々なリーダー経験が私を人としても成長させてくれました。ぜひたくさんの方のリーダーの経験をしてたくさん失敗してたくさん成長してください。

私は緑豊かな大学に戻り、みなさんと過ごした夢のような日々を思い出しながら音楽の勉強をしています。みなさんの成長をこれからも見たかったです。「頑張ってるよ!」と時々心の中で教えてください。それを感じ取って私も頑張ります。それぞれの場所でお互いまた頑張りましょう。素敵なリーダーの皆さんに出会えて良かったです。人生の宝物が増えました。みなさんのご活躍を応援しています。

学生スタッフのみなさん。みなさんと4日間共にし価値ある時間を過ごせたこと、素敵な仲間と再会、出会えたこと、とても感謝しています。ありがとうございました。

最後になりますが、このような貴重な機会をくださった県の職員の皆様、トヨタ白川郷自然学校の皆様、ぎふ立志リーダー養成塾に関わったすべての皆様へ、心から感謝しております。ありがとうございました。

## 参加者の手で創るリーダー養成塾

まずは、今年度も無事にプログラムを完了できたことが良かったと感じています。現地でも話しましたが、この4日間、中学生たちの中では、意見のぶつかり合いや大変なことが何度も起こっていましたが、そんな中でも折れることなく、より良くなるために考える姿勢に感動しました。

初日に、中学生それぞれが考える「リーダー像」を話してくれた時がありました。その時感じた印象は「みな同じような内容で、抽象的だなあ」でした。当然、まだそれぞれの中でリーダー像が固まっていなかったのだと思いますし、悪いことではありません。しかしその分、中学生たちはこのプログラムを通して、リーダーを務める上で大切にすべきことについて、多くの方々からいただいた様々なヒントを基に、自分自身で考えるきっかけを作ることができれば、価値があるのだらうと思っています。

私が自分のグループの生徒の感想に毎日書くメッセージの内容は、決してその日の出来事だけではなく、その日その人がどんな役割でグループの一員にいたかを考え、フィードバックをするようにしました。

例えば、なかなか自分の考えが言えず、「みんなよりも出来が悪いから、、、」と話していた子には、「まね・かん」という言葉を伝えました。これは、「まねして、かんがえる」の略語で、「自分がすごいと思う人の真似をして、さらに自分につけられる付加価値を考える」ことが、成長への最短距離になるという意味です。1から自分だけで立派になれる訳はなく、誰しも人の良いところを取り入れることで成長すると言う内容を伝えました。「まね・かん」という標語は存在しません。(標語の方が印象に残ると思ってこのように伝えていきます。)

最終日にその生徒からは手紙をもらいました。手紙の中には、私が生徒に伝えてきた内容の中でその生徒が印象的に感じてくれたことや、Cグループの引率に対する感謝の内容を書いてくれました。その内容の中には「まね・かん」のことも書いてありました。伝えて良かったなと思った瞬間です。

ぎふ立志リーダー養成塾には様々なプログラムが用意されていますが、それをどう活用するかは、参加するメンバーがどう捉え、どう議論をし、どこに問題意識を持つかによって大きく変わります。したがって、参加する年度によって中学生や私たちが得られる学びもさまざまです。私においては、「人」に着目して、その人の成長やモチベーションを第一に考えて関わりました。生徒という立場と、学生スタッフという立場でも見方が違うため、感じることも違いました。

その意味では、今回参加した中学生や、過去に参加した卒塾生も、学生スタッフとして参加することで新たに得られることも多いのではないのでしょうか。

## 「理想のリーダー像とは何か」

今回のぎふ立志で、生徒たちに一番突き付けられたのはこのテーマではないかと思います。毎日、チームの子の振り返りを見ていると「理想のリーダー像」について悩んでいる様子がとても伝わってきました。実は、私自身もこの「理想のリーダー像」について最近までとても悩んでいました。中学3年生の時にこの立志に参加してから高校・大学と様々なプログラムに参加してきました。そのなかで私は「自分が目指すリーダー像はなにか」と日々考えていました。

以前の私のリーダー像は、「全体を盛り上げ、いい方向に導くことができる人」でした。私自身、このリーダー像を目指してコミュニケーションを活発に行ったり、仲間が意見をしやすい雰囲気づくりをしたりしてきました。しかし、大学に入り様々なプログラムに参加していくと、提案した案が良いものであったとしても仲間に対して厳しい声をかけなければいけない状況に直面しました。チームシンキングだけでは、その案がシャープになりません。仲間が必死で考えた案に対して厳しい意見を出すのはとても勇気がいりました。しかし、私がこのチームで果たさなければいけないリーダー像を考えたときにやはり、切り込んだ意見を言える存在にならなければいけないと感じました。そこで初めて、「アイデアを俯瞰的にみて、指摘ができる」ことも私の「理想のリーダー像」に繋がるのだなときづくことができました。

今回の立志では、「いろんなリーダーがいる」ということを学びました。その中で生徒の皆さんが、一生懸命自分の中の「理想のリーダー像」を探し、成長していく姿を見てきました。ぜひ、「いろんなリーダーがいると」学んだ生徒の皆さんには、実際に「いろんなリーダー」に会ってみてほしいなと思います。その中で、様々な刺激を受け、自分の中の「理想のリーダー像」を見つけてほしいです。

## 事業の成果

ぎふ立志リーダー養成塾参加者の事前（開塾式前）、事後（閉塾式前）、追跡（2か月後）において「IKR 評定用紙（簡易版）」（独立行政法人国立青少年教育振興機構）を用い、「生きる力」の変容についてのアンケート調査を行った。以下に調査結果を示す。

### （生きる力・28項目の集計結果）

能力	調査項目	事前調査		事後調査		追跡調査	
		M	SD	M	SD	M	SD
生きる力		124.8	19.8	141.5	17.3	143.8	19.9
心理的社会的能力		60.9	11.9	70.6	10.2	72.0	11.0
非依存	1. いやなことは、いやとはっきり言える	4.4	1.1	5.0	0.9	5.1	1.0
	15. 小さな失敗をおそれない	3.6	1.5	4.7	1.3	5.2	1.1
積極性	11. 自分からすすんで何でもやる	4.8	0.8	5.3	0.8	5.5	0.8
	25. 前向きに、物事を考えられる	4.4	1.4	4.8	1.3	5.2	1.1
明朗性	5. だれにでも話しかけることができる	4.4	1.1	5.1	0.9	5.0	1.2
	19. 失敗しても、立ち直るのがはやい	3.7	1.4	4.6	1.5	4.7	1.4
交友・協調	7. 多くの人に好かれている	3.9	1.3	4.6	1.2	4.6	1.0
	21. だれとでも仲よくできる	4.4	1.1	5.1	1.0	5.2	1.0
現実肯定	9. 自分のことが大好きである	4.1	1.3	4.7	1.1	4.7	1.2
	23. だれにでも、あいさつができる	5.3	0.9	5.6	0.6	5.6	0.7
視野・判断	3. 先を見通して、自分で計画が立てられる	3.6	1.3	4.8	1.1	4.9	1.1
	17. 自分で問題点や課題を見つけることができる	4.6	1.3	5.3	0.9	5.4	0.9
適応行動	8. 人の話をきちんと聞くことができる	4.9	1.0	5.6	0.6	5.5	0.8
	22. その場にふさわしい行動ができる	4.8	1.0	5.3	0.7	5.4	1.0
徳育的能力		38.7	4.9	43.2	4.5	43.7	5.1
自己規制	14. 自分かつてな、わがままを言わない	4.1	1.2	5.2	1.1	5.1	1.1
	28. お金やモノのむだ使いをしない	4.7	1.1	5.4	0.8	5.3	0.9
自然への関心	6. 花や風景などの美しいものに、感動できる	4.9	0.9	5.3	1.0	5.4	0.8
	20. 季節の変化を感じることができる	4.8	1.1	5.2	1.0	5.4	1.0
まじめ勤勉	12. いやがらずに、よく働く	4.8	0.8	5.5	0.6	5.6	0.8
	26. 自分に割り当てられた仕事は、しっかりとやる	5.3	0.9	5.6	0.7	5.7	0.7
思いやり	2. 人のために何かをしてあげるのが好きだ	5.2	0.6	5.6	0.7	5.6	0.5
	16. 人の心の痛みがわかる	4.9	0.8	5.4	0.7	5.6	0.8
身体的能力		25.3	5.1	27.7	4.6	28.2	5.2
日常的行動力	13. 早寝早起きである	3.5	1.6	4.2	1.8	4.4	1.7
	27. からだを動かしても、疲れにくい	4.4	1.5	4.8	1.1	4.7	1.4
身体的耐性	4. 暑さや寒さに、まけない	3.9	1.4	4.2	1.6	4.7	1.2
	18. とても痛いケガをしても、がまんできる	4.7	1.2	5.0	0.9	5.1	1.1
野外技能・生活	10. ナイフ・包丁などの刃物を、上手に使える	4.4	1.6	4.7	1.4	4.7	1.5
	24. 洗濯機がなくても、手で洗濯できる	4.4	1.6	4.8	1.4	4.6	1.5

\*各項目で「とてもあてはまる」を6点、「まったくあてはまらない」を1点としてそれぞれ1点刻みで得点化し、項目ごとに平均点（M）及び標準偏差（SD）を算出

（教育効果の検証）分析方法：反復測定による一元配置分散分析（分析結果の詳細は詳細出力を参照）

### 「生きる力」の変容（得点範囲：28～168点）

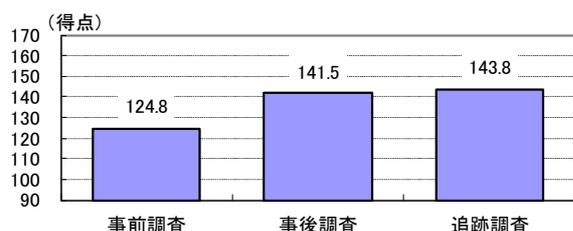


図1. 「生きる力」の平均値の推移

#### （事前－事後）

- ・事前から事後にかけて 16.7ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

#### （事後－追跡）

- ・事後から追跡にかけて 2.3ポイント向上
- ・その向上に有意差は見られなかった

#### （事前－追跡）

- ・事前から追跡にかけて 19.0ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

### 「心理的社会的能力」の変容（得点範囲：14～84点）

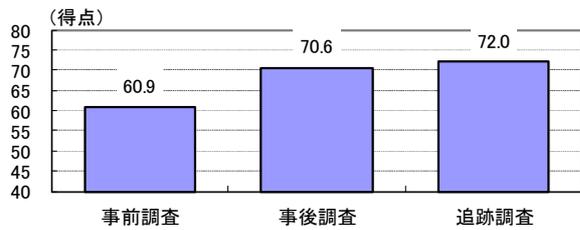


図2. 「心理的社会的能力」の平均値の推移

#### （事前－事後）

- ・事前から事後にかけて 9.7ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

#### （事後－追跡）

- ・事後から追跡にかけて 1.4ポイント向上
- ・その向上に有意差は見られなかった

#### （事前－追跡）

- ・事前から追跡にかけて 11.1ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

### 「徳育的能力」の変容（得点範囲：8～48点）

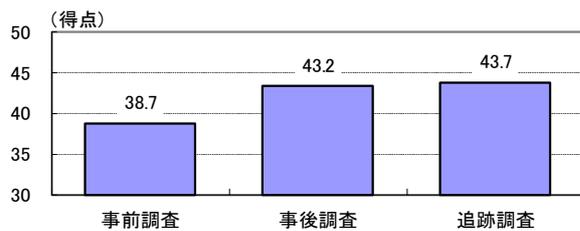


図3. 「徳育的能力」の平均値の推移

#### （事前－事後）

- ・事前から事後にかけて 4.5ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

#### （事後－追跡）

- ・事後から追跡にかけて 0.5ポイント向上
- ・その向上に有意差は見られなかった

#### （事前－追跡）

- ・事前から追跡にかけて 5.0ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

### 「身体的能力」の変容（得点範囲：6～36点）

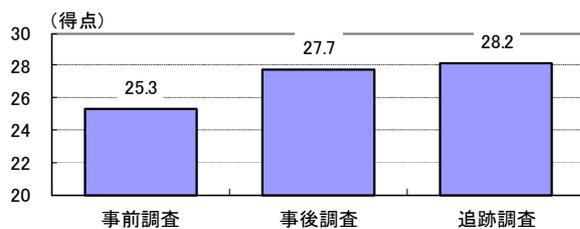


図4. 「身体的能力」の平均値の推移

#### （事前－事後）

- ・事前から事後にかけて 2.4ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

#### （事後－追跡）

- ・事後から追跡にかけて 0.5ポイント向上
- ・その向上に有意差は見られなかった

#### （事前－追跡）

- ・事前から追跡にかけて 2.9ポイント向上
- ・その向上に有意差が見られた

## 結果の考察

「生きる力」の3つの指標「心理的社会的能力」「徳育的能力」「身体的能力」の全ての項目において、事前から事後、事前から追跡にかけてその向上に有意差が見られた。また、事後から追跡においては全ての項目でポイントの上昇がみられたが有意差は見られなかった。ぎふ立志リーダー養成塾での経験により、リーダー塾参加2か月後においても参加者の「生きる力」の向上が継続していると考えられる。

事前から事後にかけて、平均点が1ポイント以上向上した項目は「3.先を見通して、自分で計画が立てられる」「14.自分かってな、わがままを言わない」「15.小さな失敗をおそれない」の3つの項目であった。この中でも最も変化が大きかったのは、「15.小さな失敗をおそれない」であった。プログラムを通してチャレンジする気持ちが育っていることが読み取れる。また、有意差はないものの事後から追跡にかけて全体的に向上が続いていることから、プログラムが持続的な影響を与えていることが分かる。

この塾を開催するにあたり、協賛、後援いただいたみなさん

(協賛)

一般社団法人岐阜県経済同友会

一般社団法人岐阜県経営者協会

岐阜県商工会議所連合会

岐阜県中小企業団体中央会

岐阜県商工会連合会

(後援)

岐阜県教育委員会

[事務局]

岐阜県環境生活部 私学振興・青少年課 青少年係

〒500-8570 岐阜市藪田南2-1-1

TEL : 058-272-1111 (内線) 3039

FAX : 058-278-2612

Eメール : [c11151@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11151@pref.gifu.lg.jp)



岐阜県 環境生活部 私学振興・青少年課  
青少年係

〒500-8570 岐阜市藪田南 2-1-1

T E L : 058-272-1111 (内線 3039)

058-272-8238 (直通)